(明治三十九年九月十日 第三種郵便物認可)(大正七年五月十日發刊) 年中無休刊

京城日報

十八日夕刊

定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金六十五錢

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

○講和條件附隨せず
會議期は明年一月中頃か

華盛頓來電＝駐獨米大使館より獨逸の講和提議公文到着したり國務省は秘密を嚴守しつゝあるも察するに具體的講和條件は附隨し居らざるもの〻如く獨逸の希望は結局交戰各國双方より代表者を海牙に派遣して討議の上適當の講和條件を發見せんとするにあるが如し此邊の消息は駐米獨大使の談に依りても推測せらる然して其時機は明年一月中頃ならん(紐育電報)

▲獨の條件提示期

駐米獨逸大使ベルンストルフ氏は十七日米國國務卿を訪問し歸來發表して曰く若し平和會議開催の準備成らば獨逸政府は直に聯合國に對し講和條件を提示す可し云々(桑港電報)

▲聯合各國の意見交換

聯合各國は獨逸の講和提議に對する回答に就き非公式に意見の交換を開始したり(紐育電報)

▲駐米英大使打電

駐米英國大使は本國政府に打電して曰く此際中立國の意見を顧慮し絶對に獨逸の講和提議を峻拒す可からずと(桑港特電)

▲講和提議日本傳達說

獨逸側の講和提議は米國政府より佐藤駐米大使を經て日本政府に傳達されたりと傳へらる(桑港電報)

○敵國側兵力の分布

巴里來電公報に曰く十二月一日現在の敵の兵力分布左の如し(紐育電報)
▲西部戰線百二十三個師團 ▲露國戰線百〇六個師團 ▲羅馬尼戰線二十九個師團 ▲マセドニア戰線十二個師團 ▲伊太利、アルバニア戰線三十二個師團

○希臘終に屈服す

希臘政府は聯合國側の最後通牒に對し終に屈服して全部其要求を承認せる旨英國公報を以て發表されたり(紐育電報)

○生糸輸出旺盛

講和問題の爲一時頓挫の模樣ありし横濱生絲市場は米國筋の新註文續々來り輸出再び旺盛となれり(東京電報)

◎總督邸午餐會

長谷川總督は二十日午後零時三十分より李王、李堈公、李埈公各殿下を官邸に招待午餐會を催す事となれるが李王職主要職員朝鮮貴族中樞院顧問以上の職員列席す可く總督府側よりは山縣政務總監以下各部長官等參列す可し

◎王公午餐會臨席

李王殿下並に李堈公李埈公兩殿下は二十日午後零時三十分總督官邸に御成りあり總督主催の午餐會に御臨席の筈なり

◎恩賜金管理規則改正

恩賜金管理規則中改正の件は十九日附府令を以て發布せられ大正六年度より施行の事に決し、又た臨時恩賜金の收支に關する規程中改正の件も同日附訓令に依りて公布されたり、而して之れが改正の要旨は從來恩賜金の元本は府郡島各別に保管せられ從つて其の收入も各別に配付使用せられたるが今回は之を合して地方豫算に編入することゝなれり然れども其の事業計畫其の他一切の取扱法等に就きては毫も從前と異なる所なし

◎地査委員會

高等土地調査委員會第一部會は十八日午後一時より總督府第一會議室に開會山縣委員長以下第一部に屬する各委員出席し土地査定不服申請に對する件を審議せり

◎演習地理實査
白水少將等の北行

朝鮮駐箚軍參謀長少將白水淡同次級參謀少佐岡千賀松の兩氏は來る二十九日龍山出發京元線鐵原平康方面に於ける演習地々理實査の爲め出張越年の後一月六日歸龍すべしと

◎美濃部總裁挨拶

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は十八日午前朝鮮ホテルより本店に出頭樓上にて三島木村兩理事以下各司事技師以上に對し一場の就任挨拶をなし午後一時よりは自動車を驅つて總督府を訪問長谷川總督山縣政務總監以下長官局長に著任の挨拶をなし午後五時より更に本店樓上にて行員一同に對し新任の挨拶を行ひたり

◎釜屋武官挨拶

十六日夜入京せる總督附海軍武官釜屋少將は十八日朝務廳高橋武官の案內にて各部局課長を歷訪新任の挨拶を爲し午後は京龍兩係官署を訪問したり

◎芳賀副參事等出發

入京中なりし芳賀鐵道院副參事山口囑託の兩氏は支那視察の爲め十七日夜南大門驛發北行せり

◎村瀨囑託北行

入京中の村瀨鐵道院囑託は十九日午前九時十分發列車にて支那に向ふ由

◎柵瀨代議士入京

柵瀨代議士は十七日夜平壤より入京せり

◎鐵道雇員昇給

鐵道局にては例により十九日附各課雇員約五百名に對し夫々昇給の辭令を交附したるが各年に比し本年は若干多數なり

◎輸送制限繼續

十七日を以て朝鮮鐵道の下の關以東(山陽線糸崎以遠)行き連絡貨物輸送停止期を終りしが十八日より二十三日に至る六日間の下の關以東行き貨物の輸送制限は全線を通じ一日十車にして受託車數の各驛に對する割當ては滯貨の多寡により營業課に於て之れを定め隨時電報にて指令する由なるが同じく下關行きは十八日より三十一日迄五車宛(釜山自發共)又九州線行きは本月末日迄釜山自發共一日二十五車と決定せり

著任當日の美濃部鮮銀總裁 ＝總裁室に於て＝

◎鮮鐵線滯貨量
三萬三千餘噸に上る

鐵道局の調査に係る十五日朝內地行貨物の全線に於ける停滯數量を聞くに三萬三千六百餘噸にて其の內譯を擧ぐれば釜山に本州線行き四千四百十三噸下の關及び九州線行き八百十九噸各驛に本州行き二萬零六百九十二噸九州及び下の關行き六千二百七十四噸又輸送中のもの本州行き九百四十九噸九州行き四百九十八噸にして右の外朝鮮內諸著貨物の滯貨も少なからずと

◎釜山の滯貨と應急策
驛前の空地を利用す

朝鮮鐵道にては內地各線行き連絡貨物に最も多量の日數を加へ居る關係上釜山に輸送の大制限を加へ居る關係上釜山に於ける到着貨物の滯貨は勢ひ免るべからず從つて其の滯貨收容箇所を現在以上に擴大する必要あり旁々安藤鐵道局參事は十六日釜山に下り十七日釜山停車場附近の担々たる大道の一側並に釜山停車場前空地に一部の貨物を堆積する餘地を見出し其の取締に當る局の若松府尹橋本署長等と種々協議の末道路及び驛前空地に今後貨物堆積差支へなき事を決定歸任せしが此際の應急措置として適當を得たるものに與き知し而して其の結果得たる餘積は頗る廣大にして結局其の最高收容量左の如き數字を現はす由

▲釜山著荷物(釜山に著せし上內地に移出さるゝもの及釜山に消費するもの)

十六日現在滯貨	三、七四三噸
最大限度收容力	九、〇〇〇噸
餘力 約	五、〇〇〇噸

十六日に於て三千七百噸以上の收容能力は多からざる爲め新に四千噸以上の餘積を生じたるものと云ふべく又

▲連滯貨物(內地行き)

十六日取卸し濟	四、一八二噸
最大限度收容力	六、〇〇〇噸
餘力 約	二、〇〇〇噸

乃ち合計約六千噸以上の貨物收容能力を生じたる譯なりと

◎不合格米增加

米穀檢査指定地外より仁川に依託品として廻著する米穀及び當業者の手を經て仁川驛に廻著と同時に內地に移出さるる者の中仁川の檢査を要求する者尠からざるが近來此等廻著する米中には雜物混入步合多量なる者及び包裝不完全の者多く從つて不合格品增加の趨勢を示せる者の如し此れ各地共に滯貨著しく調製困難なるに依ると繩叺類の移入捗々しからず且つ出盛期に際してより古叺すら例年に比し約二倍の騰貴を來せるを以て包裝に不完全なる者多き所以ならんが甚しきに至つては重量にのみ重きを置きて粗製の繩叺を使用し檢查規定に牴觸せざらん事にのみ腐心しつゝ有るが如き傾向生じ檢查當局者をして包裝に對する取締の標準を一層嚴重ならしむ可き必要を感ぜしめつゝ有りと(仁川)

◎咸北鰊大漁
城津灣に一千萬尾

咸鏡北道沿岸に於ける漁溫の盛態は本紙既報の通りなるが其れかあらぬか臨溟灣即ち城津灣內にては十一月三日より二十二日まで二十日間に亘りて鰊の大群來集し之れが漁獲數量は一千萬尾價額七萬五千餘圓と註せられたり之れが從漁者は附近在住の朝鮮人にして漁船漁具の如きは未だ全く改善するに至らざる爲め漁族の遁逃するもの甚だ多かりしが若し其の諸設備にして完成したりしならむには今回の漁獲高は更に激增せしや疑なし、而して此の豐漁の漁民は勿論地方勞働者の經濟上に至大の好影響を及ぼし一時は運搬人夫の拂底を告ぐるに至り鮮人婦女の如きも他業を廢して鰊の運搬に從事せるが其の勞銀多きは一日一圓四五十錢より少きも一圓を下らず市況爲めに非常の活氣を呈せり

◎鑑定價格の引上

平壤鎮南浦稅關の輸移出品の改正鑑定價格は既記の如く十六日より實施したるが右によれば平南兩稅關とも前月に比し輸移出品一般に其價格を著しく引上げたるが這は重要品昂騰に伴ふ影響なるは言ふまでもなく併も斯く一時に鑑定價格を著しく引上げしは本年稀有の事象と云ふべく仍ほ平南兩稅關の引上內容を見るに其品目により彼此高低あれど獨り牛皮のみは其引上方同率なるは注意すべし(平壤)

◎慶南客月檢米

慶尚南道米穀改良組合十一月中に於ける米豆檢查總數は十五萬七千四百三十一叺にして前月に比すれば實に四萬八千五百四十八叺の激增を示せり斯く增加せるは新穀の出廻季に依るものにして之を前年の本月に比すれば五百五十八叺を增加せり然しながら本年の收穫は昨年の收穫高に比し殆んど百萬石內外の增收を稱へ且つ米價は昨年に比し益々高價の爲め競うて出穀の狀況なり此等諸種の原因に依り今一層の增加を示すべき理由ありと雖も日本內地と同樣地も例年より季節の遲れたる爲め農作の割合に未だ出穀の少なかりし所以なり今成績の如何を考覈するに白米にて特等及び上格に比し下格及び格外米は實に四割九步強の多數となれり一見檢查の不成績を示したる如き感なき能はざるも實際に於ては然らずして各檢查に於ては法規の指定に從ひ極力改良に熱中し寧ろ規則の勵行を嚴格になすも米價の昇進は出荷の急速を促がし爲めに精選の餘裕を與へず早刈入れの弊害も隨つて伴ふの結果に起因せり然して一面米質の向上したるは日本種と在來種の出荷步合により證するに足れり即ち日本種の十萬三千九百八叺に對し在來種は一萬三千六百十叺にして九萬三百十八叺の多數となれり要するに漸次改良進步の向上したるは內地に於ける各嗜好の增大なる狀況より觀るも決して誇言にあらざるを信ず大豆は檢查高三萬九千八百九十三叺にして前月に比すれば其少なき事二萬三千八百二十四叺なりとす是れ本年度は水害の爲め夏大豆の減收を來し秋大豆も多少處により被害ありたる等にて減收し且つ秋大豆に於ては早出を爲したる等の爲め斯く減じたるものなりと云ふべし(釜山)

◎平壤に栗移入

平壤栗及び普通栗の輸移出も漸やく衰へ何時しか其終末期に入りたるもの〻如く然も一事の怪訝に堪へざるは過日來栗の產地たる平壤に京義線與水、京元線東豆川等より汽車扱にて尠からぬ栗の移入あるが這は推ふに平壤栗の輸移出旺盛の爲め最早品拂底を告げ且つ價格昂騰し來るを見込み所謂奸商連が他道の品質劣惡なる栗を夥しく移入し平壤栗及び普通栗中に混入して賣買輸移出を企て私かに不正の射利を營み居るものと解すべく平壤栗の聲價を傷ふところ尠からざるべし(平壤)

◎平壤客月金融

平壤四銀行即ち鮮銀支店、農工銀行平壤支店、百三十支店、十八銀行支店の取扱を總算したる十一月中の諸預金高は定期、當座、特別當座、諸預金の預高合計三百六十一萬七千三百九十一圓、拂戾高三百五十二萬八千三百五十六圓、月末現在高百六十二萬六千四百五十三圓、貸出高は貸付金、當座貸越、割引手形の貸出高合計三百七萬八千五百五十五圓、回收高二百六十一萬六千九十二圓、月末現在高三百八萬一千十六圓、爲替取扱高は朝鮮、內地、支那、其他を通じ合計受入(送金、取立)百八十萬一千三百二十九圓、拂出(送金、取立)百四十八萬八百五十五圓なり尙ほ同月中鮮銀支店の金塊取入高は六萬四千五百十三匁此價額二十四萬七千九百二十八圓にして前十月中に對照すれば數額に於て若干の減退を示したるが一月以降の累計は六十七萬千七百六十五匁此價額二百五十一萬二千三百二十七圓なり

▲訂正 十七日夕刊教育研究會總會とあるは京城西小門俱樂部總會十八日朝刊教育關係者交換と題する記事中教育研究會主催とあるは京西大門俱樂部の何れも誤りに付訂正す

○佛軍引續き戰勝
新占領地全部を維持す

巴里來電＝十六日午後發表の佛國公報に曰く佛軍はミューズ河右岸に於ける戰勝に引き續きクーリエル森林に進出しブゾン、ヴオーの村落を占領したり十五日夕刻獨軍はペッパー丘に猛烈なる攻擊を加へ來りしも大打擊を被りて我軍の爲めに擊退せられたり我軍は新に占領したる戰線全部を維持したり捕虜は其後續々到來し今日迄に既に九千を超ね軍需品は未だ計算せざるも砲八門を鹵獲し又は破壞したり(倫敦電報)

○張繼歸國と特使

來朝中の南方領袖張繼氏は既に渡來の目的を達したるを以て不日歸國の途に就くべく特使問題は依然として混沌たり(東京電報)

○立會再開と市況

未曾有の大混亂により立會停止中の東京株式取引所は秩序恢復し十八日より立會を再開せるが講和提議に對する各國の輿論反對に一致せるより市況大に引き立ち景氣全く恢復せり(東京電報)

○郵電制限公示

遞信大臣は十八日附省令第六十三號を以て外國郵便物、日支郵便物、外國電報、日支電報外國無線電信、日支無線電信及び外國郵便替爲取扱に制限を加ふる旨十七日公示せり(東京特電)

○東郷元帥引籠

東郷元帥は風邪の爲發熱し目下自邸に引籠り靜養中也(東京電報)

元山

▲元山驛貨物激增 年內餘日僅かに旬餘となり貨物の輻輳著しく增加するに至れるも元山驛に於ては人夫の不足及び荷主側倉庫設備の不足等に原因し貨物の停滯日を追ふて甚しく之れが整理に苦しみ居れる狀態にて貨物收入の如きも一日平均概ね三四百圓に止まりしに去る十五日の如きは實に一千餘圓といふ未曾有の增收を示せりと

▲高原鮭孵化成績 咸鏡南道高原郡人工孵化場(總督府直營)に於ける採卵用親魚放養數は九千匹にして內二年度標式附放魚十八匹及び附近に十二匹合計三十匹を採取し[illegible]の成績を舉げ得たるが更に本年の卵數二百三十三萬粒中[illegible]化し健在其他は目下孵化中なるが概して良好の由

▲龍底近海鰮漁 江原道龍底港及び發石面附近にて鰮漁に從事せるは內地人一鮮人[illegible]にて地曳網五統を有す本年[illegible]る同地鰮漁の狀況を聞くに地曳網一統に付き漁獲高六千圓[illegible]に達したるが斯る豐漁は同地漁始以來未曾て見ざるところなりと

春川

▲面書記講習會 春川郡廳に於ては十二日より五日間[illegible]面務主任面行政面經費[illegible]倉原書記統計勸業事務を川端技手[illegible]事を橋本獸醫畜產を小澤財務主任[illegible]務を李書記民籍を擔任し面書記講習會を開催したるが出席者は傍聽者を合せて十五名にして十六日中郡守一場の訓示を述べ終つて一同懇親會を開き解散したり

▲分隊長著任 春川憲兵分隊長池田憲兵中尉は多數官民の出迎を受け十二日家族同伴京春自動車にて著春十三日早々各官衙學校銀行其他地方有志に著任挨拶をなせり

▲駐在所設置 春川の咽喉部新延江の渡舟場は地方の發展に伴ひ交通頻繁となりたるを以て今回春川警察署より巡查駐在所を設置せるが一般の享くる便利多し

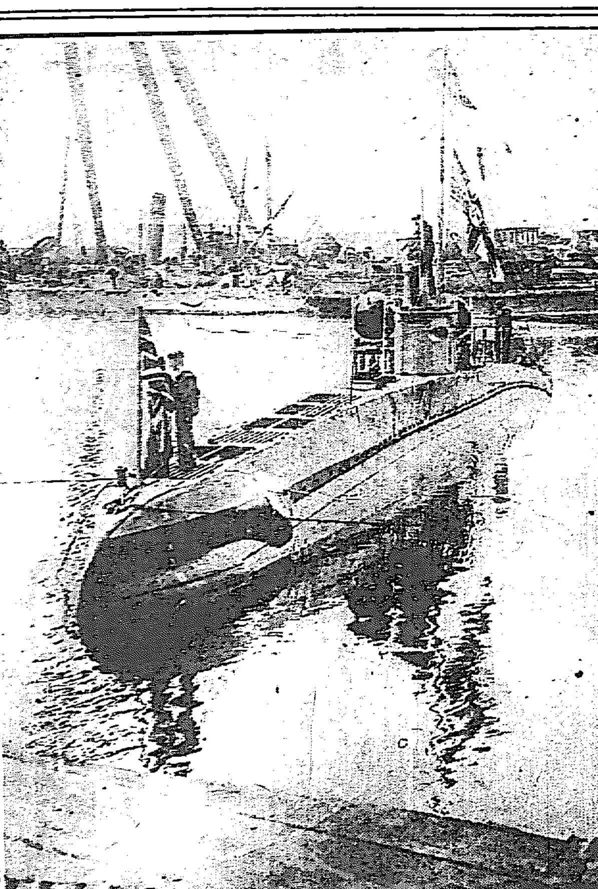
▲新憲兵配付 江原道警務部管下滿期憲兵の補充として到著したる憲兵上等兵鈴村久方氏以下四十二名は次の如く各分隊へ配付され十四日其々任地へ向け出發せり即ち春川四名鐵原五名金化六名鐵原四名蔚越三名原州三名蔚珍三名通川二名高城六名淮陽六名なり

▲奈良院長輕快 宿痾の爲め久しく引籠中の春川慈惠醫院長奈良眞三郎氏は近々快癒出勤の筈なり

人事消息

▲水越北海道拓銀頭取 十九日午前八時三十分南大門驛出發の豫定
▲美濃部鮮銀總裁 十八日朝社宅に入る
▲曾禰安輔子(同秘書役) 同上
▲國武克己氏(實業家) 十八日朝入京旅宿へ
▲飯田幸成氏(國武農場支配人) 同上
▲大原庄太郎氏(釜山水產組合長) 同上
▲黑住猪太郎氏(黑住農場主) 同上
▲神林啓太郎氏(咸興鐵道重役) 同上
▲中村嘉七郎氏(鎮南浦廻漕業) 十八日朝來京
▲左納榮三郎氏 ▲波多野省吾氏(以上大阪朝日會社員) 同上
▲木原中佐 同上
▲城數馬氏(京城覆審法院長) 管內巡視中の處十七日午後仁川より歸任
▲岡本惠三郎氏(開城警察署長) 十七日午後永登浦より入京
▲京城駐在白耳義領事 十七日午後釜山より歸京
▲木村虎三郎氏(代議士) 十八日朝安東方面より歸京

（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）


獨逸より捕獲せる潜航艇　―英國某軍港にて―

●軍艦か、大和魂か
海！海！海の武裝！
總督府海軍武官　釜屋海軍少將の談

予は去る明治廿二年の入京以來屢々京城を來訪し且つ水路測量の爲めには明治三十年

◇南鮮の三千浦、麗水

沿岸に來り越えて四十一年には擲陵島、元山及び江原道沿岸を軍艦松江にて航海せり、而して道回總督附海軍武官として京城に來れるは朝鮮との因縁淺からざるを覺ゆ、京城の印象は從來數度の來訪に淺からざるものあり入京毎に面目を一新せるゆへ全く初見の地といふも可なり、明治四十一年の

◇朝鮮東海岸測量に

當りては沿岸一帶の地に見聞せること尠なからざるが殊に東海の名勝金剛山が只今の如く世間に周知せられざる時とて水兵等の探勝談を聞き溪谷の蘭などを貰ひたるのみにて意にも留めざりしは遺憾なりき、猶ほ朝鮮東海岸の航海に於て往々坐礁遭難船等のあるに由なれどあの沿岸はさほど困難なる難所にも非ず、

◇潮流も亦順調なり

唯だ往々にして坐礁等のことあるは航海者が沿岸に近き大膽なる航路をとるが故なり海軍水路部の測量は普通汽船の航海すべからざる海上は其の詳細を海圖に載さずされば若し一艇の航路以外のコースをとれば間違ひのあるは餘儀なきこととなるべし猶ほ其の當時より承知せることなれども日本海には

◇有名なる循環潮流

あり此の潮流は無論黒潮と寒流と相交るものなれども北の方宗谷海峡より發して露領沿海州沿岸より元山沖を掠め更に江原道沖を南下して鬱陵島附近に流れ再び方向を東南に轉じ裏日本沿岸を洗ふ潮流にして往古刀伊の賊が此の潮流に乗りて九州沿岸を襲ひたる如きまた近くは浦港々頭の機械水雷が

◇度々鬱陵島に漂著

せる如き皆この循環潮流の流れを示すものなり、また東海岸のドリフトカアレントは屢々烈風に煽れたる海潮の爲めに起ることあれど大體に於て危險なる航路には非ざるなり、

釜屋海軍少將

四十三年には『千歳』艦長として仁川に入港したることありしが『千歳』は曾て明治三十一年の頃予の米國に於て

◇艤装監督せるもの

にて當時フキラデルフィヤ及桑港造船所に於て各一隻を注文せるものなりしが昨今山城、伊勢等三萬噸級の戰艦を建造するに鑑みて實に隔世の感なくんばあらず、近時新聞によれば米國に於ても四萬噸級の大艦建造の由なれども

◇米國造船場の整備

は偉大なり、現に『千歳』建造當時の如きも艤装用の金具は總て大商店にて所藏し客の需要に應じてこれを供給する有樣にて日本の如く一々型を造りて製造するものとは雲泥の差あり米國造船術の進歩と製艦費の廉價なるはかゝる點に在りと感じたることなりき、猶ほ今後の海戰が艦型、艦數、砲熕の優秀なる艦體に

◇戰捷の月桂冠を與

ふべきは明かなるも日本の如く大和魂のみありて軍艦の不足なる國と雖も毫も憂ふるには及ばず大和魂ありて軍艦の乏しきは軍艦餘りありて大和魂無き艦隊よりも勝れり且つまた、今後潜航艇の活動は各國共に期待すると尠なからざるべく現に歐洲戰亂に於ける

◇獨逸潜航艇の勇戰

は目醒しきものなれど這は素人が買被るほど萬能なるものに非ず潜航艇の襲擊に對しては軍艦に於ても亦相應防禦の方法あれば左程恐るべき敵に非ず四六時中これが襲擊に注意警戒するだけ厄介なる次第なり現に英國海軍の如きは毎次猛襲を試みつゝある獨艇に對し一々擊退するは勿論

◇常に捕獲し分捕し

つゝある有樣なれど只これを世間に發表せざるまでなり軍艦の防禦法はそれ自身の速力を利用し砲熕を利用するは勿論ペリスコップなる潜航艇の眼鏡を發見して驅逐艇をして之を擊たしむるに在り要するに左程恐るべきものには非ず、次に海戰に於ける

◇飛行機の威力は今

より後益々發揮さるべく其の爆彈投下は軍艦に對して左程の奏功なけれど海上高く飛翔して潜航艇の潜伏及び布敷水雷の發見に有利なりまた艦隊の陣形及び進行方向を逸早く知るに便なり要するに今後の海戰は海上下に細心の注意を要するもの尠なからざるべし

●面事務所に暴れ込む　黄海道鳳山郡岐川面冷井里草木洞金[illegible]飛ばし同人の中折帽子を踏み潰したる結果傷害を負はしめ[illegible]して本年十一月二十七[illegible]

●連絡船上陸客　十二月十七日[illegible]十二[illegible]午後釜山入港壹岐丸二[illegible]

●米國から高麗燒を買ひに
象眼にすつかり感心してるワーナー氏
世界的に紹介される朝鮮の古美術品
（江西古墳の壁畫になりたいと絶叫したウエツチエル氏）

此の頃入京中の米國人ワーナー氏はボストン博物館から朝鮮、支那、日本の古美術品蒐集に派遣されて昨今熱心に見物中である、同氏の知人池田清之助氏曰く『米國のボストン博物館では以前岡倉覺三氏が居られた所以か概して

◇日本の古美術品

を多く蒐集して居ります、ワーナー氏は去月末入京して以來本月の廿日頃まで滯在して朝鮮の骨董類を買集める計畫だ相ですが既に購入した品數は今日までに百點餘に上りました、殊に佛像中には

◇一枚四五百圓を

投じたものもあります、始めワーナー氏は朝鮮の古銃類を看ましたがこれはどうも支那に模倣して支那よりも幼稚だといふので中止したやうです、氏は先般支那で澤山買集めて居ります、次に佛畫のよいものと三國時代の佛像を望むで居りますけれども佛像にはまだ良いものが見つかりませぬ、其の他

◇朝鮮古代の甲冑

具足なども集めましたし石器石鏃類もだいぶ蒐集したやうです、また高麗燒の靑磁は釉のきれいな雨過天晴の色を現したものなどを望むで居りますが近來はこの高麗燒がだん／＼外人間の評判になつたやうです、元來陶物では靑磁が最も困難で且つ高尚なものとされて居りますが殊に朝鮮のは

◇化學的智識の乏

しかつた古代に於てあれだけのものを出して居りますから驚くの外はありませんが當時は鑛物性の彩色が解らぬ時代だつたので象眼によつて異つた色を表したのは驚くの外なしと云うて居ります、尤も釉の色なども當時の名匠が幾度か採り／＼研究した上あんな優秀なものを出したと思はれますが昨今鎭南浦の

◇三和高麗あたり

でもあらゆる分析試驗等によつて研究して見てもまだ見當がつかぬやうです、殊に白磁となるとなか／＼困難でむかしの優秀な韻士さへもまだ解らぬやうです、兩度とで昨今外人間の顯のある人には高麗燒がだん／＼珍重されて來た、―現にワーナー氏の如きも其の一人で氏はなか／＼

◇東洋の古美術品

に造詣が深いやうです、次に外人の研究者では去る九月に入京したウエッチエル氏が玄人でした、氏は平壤附近の有名な江西の古墳に行つた時あの勾麗時代の優れた壁畫を見て殆んど我を忘れたやうでした、そして外へ出てはまた這入り出ては又這入り

◇二時間ばかりも

眺め入つて居りましたがお了ひには『私は此所の壁畫になりたい』とまで語つて居ました、ウエッチエル氏の見方ではあの壁畫は確かに波斯の圖案に似て居つて當時は西洋でも十字軍の十耳古を攻めた時代で印度、中央亞細亞、支那、朝鮮とは最も

◇交渉の多かつた

時代であるから佛教、基督教の關係が美術品にも及んだらしい―それに天人鳳凰の姿から火焔、雲紋の表現法は全く印度、支那にないもので大に波斯に近いやうである……とのはなしでした、兎に角近來朝鮮の古美術品がだん／＼世界に紹介されて來たのは悦ぶべきことゝ思ひます』

●決鬪を申込んで 命を取らる

慶南昌寧郡邑內面橋上洞金小斤洙(三五)は十二月二日同面松峴洞河白根末乾里道成庵の僧侶金吉甫事金泰龍(二九)と共に昌寧市場にて會飮したる際兩名は爭論を始め泰龍は金小斤洙より頰を毆られ其場は其儘にて互に歸宅したるも泰龍は憤慨措く能はず之が復讐をなさんと三日午前三時頃の夜半態々小斤洙方に至りて決鬪を申込みたれば小斤洙も之に應じ互に死力を盡して格鬪したるが小斤洙は泰龍の著衣の紐を引取りて之を以て同人の頸を絞めつけたる上有合せたる長さ五分、太さ三分位の尖りたる木片を同人の顱頂部に打ち込みて遂に死に至らしめたることを昌寧警察署にて探知し小斤洙を此程逮捕したり

●一隻の漁船で 三重の詐欺

慶南昌原郡龜山面德東里居住の漁業平川太郎吉(四〇)は大正四年頃より釜山南濱町海產物商東萬吉と取引し居れる內同人に借財を生じたるより太郎吉は昨年十二月十八日自己所有の漁船其他八點(時價六百圓)のものを提供して三千三百二十三圓五十錢に賣却契約をなし幾分の現金を受取り件の抵當物は尚太郎吉に於て保管中更に大正五年二月昌原郡々內面陽德里居住の福田五郎に保管中なる抵當物を金四百圓にて全部賣却し其結果福田より七月中抵當物を全部引揚げられたるより所有者なる東萬吉は三千三百餘圓を損失するに至りたり然るに太郎吉は件の抵當物を倚ほ福田より引揚げられざりしを奇貨とし五月中旬鎭海紅梅町居住の上田米太郎に對し實弟平川對藏の所有物なりと詐稱して三百圓に三重賣りして其の代金を詐取しあること判明したるが同人は其後姿を晦まし目下行衛を嚴探中なりと

●水車小屋倒れて 壓死を遂ぐ

平安南道寧遠郡邑內面新栗里慶金鎭氏の妻金彩鸞(三五)は十二月十日午後十時頃自宅を距る五丁程の川端なる水車小屋に至りたるところ如何なる機か水車小屋倒れ下敷となり死亡す

●板の間稼ぎ

廣島縣吳市二河町字西港町當時釜山鎭在住大工職藤井初太郎妻せつ(三三)は近頃活動寫眞其他にて身分不相應の金を費消し居る樣子が怪しきより十六日夜同人が活動寫眞見物中を取押へ釜山署へ同行取調べしに松の湯、彌生湯其他にて板場稼を爲せし旨を自白したるも猶ほ餘罪ある見込にて取調中なりと（釜山）

景氣付けたい―地方の歳末
▽何と云つても 風變りの滿洲
賑ひは是れから

滿洲の歳末市況は樂觀悲觀入り亂れて仕入を急ぐ向もあれば控へて居る向もあるといふ有樣で果して好況か不況か二十日過でなければ分らない最も歳末に多少

□需要の増大する事

は何處でも同じであるから大連の各商店の如きは內地にそれぞれ注文を發して歳末賣出しに居る、內地における正貨の増大と金融の緩慢と種々なる成金の續出と勞働者の懷中工合の好くなつたのとは一方に投機熱を煽動し一時的刹那的の極めて儚ない榮華を夢みるものが多くなつたと同時に上ッ調子の浮景氣で大阪の如きは歳末市況の景氣は素晴しいものだと聞くが內地における正貨の増大は自然滿洲にも餘澤を及ぼしそれだけ正貨を增し金融を緩漫にし且つ銀價の暴騰は輸入貿易を促進し綿絲布の如き既に多大の増入を示し商雜貨の仕入も

□例年に比すれば盛

なる方にて現に東滿鐵道が貨車不足のため依然と輸送に制限を附し居りしが爲め長春及び寛城子における堆貨の影しきにも拘らず露國行商品も引續き盛に輸入せられ一般經濟界の狀況は先づ好況といふ方であるにしても通貨の膨脹に伴ふ物價の騰貴は滿洲においても免かれ難く內地商品は內地における價格の騰貴以上に運賃諸掛費等を加算する爲め一層騰貴し居れば一般需要者は生活費に節約を加へ購買を手控ふる有樣にて商品の賣行決して良好なりとは申し難い殊に

□大連邦商の多數は

滿鐵社員を初め一定の收入あるものを其の顧客となし居る有樣ゆゑ是等一定の收入に依りて生活するものが物價の騰貴に拘れ生活費を節約する傾向ある以上その影響は當然商況の上に及ぼさせるを得ず歳末市況は數年前に比すれば次第に不調となり昨年末の如き寧ろ不況といふ方にて贅澤品の賣行大いに減少したるが是れは在滿邦人の氣風が漸く著實となり奢侈贅澤の氣風より遠かり前途を見越して其の生活に緊縮を加へ來れる結果なれば本年の如き物價騰貴の場合には一層節約を加ふべく隨つて歳末における商品の賣行は

□必要程度以上には

進まざるべく或は意外の不況を見るも知るべからずと危惧されて居る而して支那人間の景況如何を見るに銀價の暴騰は必然是等の購買力を增進すべき筈であるが思ひし樣に其の購買力を增進し居らず渠等支那人は銀の暴騰につれ銀貨を貯藏し又は之を鑄潰したる爲却つて市場における硬貨の流通を阻礙し金融の圓滑ならず其れが延いて一般商業の上にも及ぼすといふ有樣なれば銀價の騰貴も金價以上に拔けては

□餘り有難きものに

あらずと支那商は稱し居り勞働者の如きも金融[illegible]らぬ樣に思はれる斯く觀じ來れば滿洲の歳末景況は悲觀せぬ迄も樂觀はなし難きが如く今日のところ店頭を裝飾して景氣を附け居るは服商、時計商、西洋雜貨商、洋酒煙草類販賣商といへる贅澤品向の商家にて是れは內地の景氣に伴ふ滿洲の景氣を豫想しての事だが果して好況なるべきや否やは疑問である食料雜貨商の如きは寧ろ仕入を手控へ居る模樣なり併し大連市中は日と共に何となく景氣を加へつゝあり（大連より）

▲歳末の金を八十圓も投げ出して大正の青年と帝國の前途を買入れて其の主張の傳播を謀つた高陽郡廳の小使堀理作君の平常には却々感服すべき事柄が多い▲同君は十數年來一日として日記を怠つた事はないそうして年末に成ると一年間の重要の事柄と金錢の收支との一覽表を作つて其れを自分の兩親と細君の兩親とに送ることに成つて居る▲日記の一覽表は炭酸紙で三通拵へて夫婦の兩親へ一通自分の手許に一通取つて置くのださうだ一箇月の收入が二十圓一年の收入二百四十圓それに時々の賞與と二三軒の貸家から上る收入と支出とが一厘半錢の相違もなく記入されて居るさうだ▲堀君の話に一厘一毛の末まで他人なり兩親なりに僞りなく明瞭に報告し得る生活はまづ仙人のやうな生活を爲なければならぬと

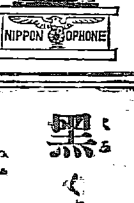
●課題及募集規程

▲編輯募集規程　▲用紙は端書又は半紙同樣の洋紙一枚毎に紙上の要旨又は匿名の外に住所氏名明記の事▲原稿は一[illegible]

天氣　くもり　曇り時々晴れ　▲十二月十九日

日出　七時四十三分　日沒　五時十八分　[illegible]

三郎儀今般總督府外事課長に轉任致候處私共在仁中は不一方御懇情を蒙り難有奉存じ候尚將來も不相論御厚誼の程希上候
乍略儀紙上を以て御挨拶申上候
十二月十八日
久水三郎
同　和歌子

絶好贈答品
鶯印　桃太郎に限り
音譜　桃太郎二枚一
印器印　郎香音割引
半額　音譜廿錢也
（箱代運賃實費申受候）
賣出し


京城本町　日本蓄音器商會

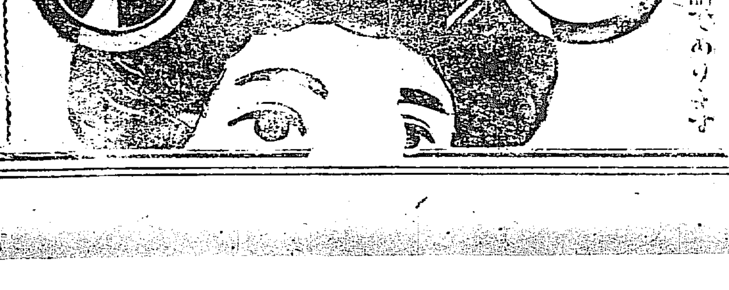
乳母至急入用
年齡二十五歲迄身體強健にして血統正しく十月中旬前後分娩せしもの至急雇入れたし希望の方は來談あれ
先方の都合上里子にても差支なし
京城初音町一九八番地
高橋

目まい　立ちくらみ　腹いた
急病、流行病の特効藥
登録商標
感應丸
大阪　本舗　正野法橋玄三
江州
販賣店は全國有名各藥店

メリヤス類　靴下製造卸商
各種雜貨
京城南大門通り一丁目
瀨戸商店
電話二七一七番

FAMILY．HOTEL
ファミリーホテル
市內四通八達の場所
土地高燥、眺望絶佳
庭園廣く閑靜の地
佛蘭西料理調進
宴會は特に御便利に取計可申候
客室　食堂　完備
ミセス、ソンタグホテル改
京城南大門通三
電話一二一八番

開院廣告
西村內科病院
釜山琴平町（電話七九七）


髮をしなやかに　美しく長がく　黑くするは　緑の如うに
廣い世界に
―タツクーツ―
パール煉香油
があるばかり
パール愛用者がおつしやる
御話であります
本舖　東京　平尾鉄也商店
關西代理店　大阪　平尾贊平支店

…就て面長に出願する所ありしも許可されざるを怨み十一月十九日午後一時頃面事務所に亂入し執務中なる面長金元弘(三〇)の額を拳骨にて毆り…

●不義の…
…州面中城洞鄭仁祚妹鄭末淳(一九)は未婚の身なるに同洞の崔相善と私通し…る所となりて同女は十二月十一日逮捕せられ目下嚴重取調べ中

優美な女

女子と體育問題 ―某女流教育家の談―

近頃女子の體育問題がだいぶ盛んになつて、いろ〳〵な議論も出てゐますが、然しまだその根本に觸れたものは見ないやうです

◆その證據には斯樣に體育が一方でやかましく言はれてゐるにも拘らずそれに切り離して考へることの出來ない女子の體操が一向顧みられてゐません。尤もかつて女子の體操が議論に上つたこともありましたが、その多くは

◆形式的なもので、眞にその根本に觸れては居ませんでした。これは一般世人の體操に關する知識の淺薄を示したものです。一體な操の目的は何かといふと、生理を主としたものでそれに依つて女子の身體の

◆發達を正しくしやうとするものです、故に施す人には保護愛育の心がなければなりませんが、現今女子に施されてゐる體操はその心に適ふものでせうか、見來つて私は却つて多くの缺點のあるのを感じます 大體日本の體操は

◆兵式から發達して來たもので根本は男子の爲に作られたものですから從つて鍛練が目的となつてゐますから、之を直ちに女子に施すのは無理だと考へられます生理を目的としたものならば、行つて愉快を感ずるのが當然ですが、却つて反對に

◆不愉快を感じる。之は男子のを女子に強ふるといふ不自然から生じて來るのだと思ひます。男子と女子とは先天的に體質を異にしてゐますから、その體質に適應したものを施さねばなりません

◆唯無闇に運動になればよいで適應するものか何うかも考へずに施すのは、體操の心である保護愛育に背いた仕業です。中には今度の歐洲戰爭で婦人が男子と同じやうな仕事をして働いてゐるのを見て、日本の婦人も覺醒しなければならない、もつと

◆男性的になつて仕事をしなければならないと云ふ人もありますが、それは一般の男子が女子に向つての要求でせうか。恐らく私はさうでなくて、矢張り眞の要求は從來の如く女性らしい優美な女子であるのではないでせうか。殊に歐洲婦人の今日の狀態は

◆非常時に際しての一時的の現象でやがては女性の本質に歸るのだと思はれます。日本の婦人もその調子に乘つて輕擧してはならないでせう。體操なども同じことで、女性らしい女性を作るに適應した女子のものを作つて、それによつて完全な發達を遂げなければ眞に理想的なものだとは言はれません(東京)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△俗謡「笑」

○風に舌出す障子の破れ貧乏世帯を笑ふのか(一等) 京城 竹雨生

▲笑む人の身に多いところ(…)には笑む司令官 龍山 呑天公

▲失つた世間を笑つてやるも泣いて苦勞をした… 京城 漂流兒

▲待ち待たずに笑ふた温室の街に妹は粹な待つ 京城 神崎白樂天

▲並び度い苦勞や氣がれも取れて笑ふ顏さへ世間晴れ 平南 石岩 榮亭

▲いつもニコ〳〵笑顏のお蔭お前目出度い春がつく 京城 未晩

●金觀鎬畫會

豫て報道せし如く平壤の青年洋畫家金觀鎬畫會は十七日午後一時より在鄉軍人會演武場に於て開會せしが會場には參考品として氏の秘藏せる西洋の名畫數枚を陳列したり同氏今回の作品は主として平壤の景色多き事とて一般に好評にして頗る良かりき(平壤)

●平壤と門松

平壤地方は諸物價の騰貴に伴ひ門松の如きも昨年に比し二割以上の値上りにて特別五圓、次三圓、普通二圓、一圓等の相場なるが門松用の青竹は平壤地方に産せず內地の移入に仰ぎ居るが內地値上げの影響を受け高値を呼び此氣配に連れて松及び注連飾用の藁も値上げとなれるが門松請負者は申合せの上門松は餘儀なき事として注連飾丈けは昨年と同値に取扱ふべき事とし青竹は既に內地より二三回落荷せり(平壤)

就中同府尹は平壤の景色以外別に東京上野公園夏の景大作一枚を買求めたるが市川旅團長も別に牡丹臺全景大作一枚を注文せる由當日は來觀者多數にて盛況を呈せり(平壤)

●僞刑事

全北全州滿水町無職柳洙日(三二)は去る四日午前十時頃益山郡保城里飲食店に立寄り折柄同家に退突內にて三四名の博徒が賭博中に踏み込み自分は刑事なりと稱して博徒等の所持金全部を奪取し更らに傍らに居りたる同郡皇華面新坪里李化春(三〇)の所持金をも強奪したる上李化春を高手小手に縛りあげ同面高內里の村外れに落ちかゝり村民集合し居りたるより其場にて化春を放還したるが其事村民の知る事となり村民一同是れを追跡して遂に取押へ礪山分遣所に突き出したり

○開教院(本町三) 十九日午後一時より鮮人敎育あり

懸賞 新年文藝 募集

課題 ▼和歌「遠山の雪」▼俳句「松飾」▼川柳「賞」▼俗謠「正月」▼ものは付「新しい物は」▼一口噺「新年に因めるもの」▼下句付「謠ぞめ」▼謎「新聞とかけて」

制限 (一人に付)一題一首又は一句、但し一人にて幾題投稿するも可し(用紙)葉書又は同型の紙(〆切)十二月二十日(注意)題每に別用紙に認むる事「京城日報社編輯局新年文藝係」に宛て送附する事

賞品 各題に付▲一等一名(一人)▲二等五十錢宛(二人)▲三等三十錢宛(三人)(但し本社代理部の相當圖書切符贈呈)

◎秋刀魚のバタ燒 秋刀魚の鱗をとり頭を取り腸を出し頭をちぎり水洗にし三つ位に切つて鹽をふり一時間程經つてからフライ鍋にバタ少しを沸立したる中に入れていため焼きにする

◎鰯のつみ入れ 鰯の頭と腸尾皮等を去り叩いて摺り味噌少しを摺り交ぜ拇指の頭ぐらゐにちぎり汁の中に入れて煮る夫れに日本葱を二寸位に切り取り合せる

◆流行する子供の呼吸器病

▲季節の注意―冬期と空氣―嬰兒の手當

段々と寒さが加はつて來ると呼吸器病が流行する子供特に嬰兒にあつては夏は消化器病が起り冬は呼吸器病に冒さるゝのが通例である

◆今年も既に一種の流行性感冒が流行つて來た一寸特殊の徴候あるものである併し大して惡性といふではないが一般嬰兒を持つ親達は十分に注意をしなくてはならぬ今の處惡性でないからといつても油斷をする譯には行かぬ一寸陽氣の加減で俄かに惡性のものに變化する事があるから氣付いたなら直ちに醫師の手當を受けねばならぬ

◆吸入器をかける事、濕布をする事なぞは最も必要な應急の手當である嬰兒が呼吸器に故障が起ると直に消化器を害ふ事があつて下痢を起す下痢を起したなら極力お腹を暖めればならぬお腹を暖めると便も段々減つて來る勿論家族に傳染するから子供なぞは患者に接近させぬ樣に注意せねばならぬ患者は成るべく暖い部室へ隔離する事が肝腎である一般に嬰兒は餘程

◆暖かい風の吹かぬ日でない限り戸外に出すのは危險である特に三ヶ月未滿の嬰兒など全然外に背負つて出てはならぬ外の空氣にも馴れさせなければ皮膚が弱くなるからといふ樣な考へで嬰兒を背負つて外出するなどは大した心得違ひである西洋などでは冬期に生れた嬰兒は非常に温度を高めた室に滿…者にして入れて置いて決して

◆外へは出さぬ西洋風邪等に較べて日本の家屋は至つて空氣の流通が善い丈それ丈け冬期に於ける嬰兒の保育上には不適當である隨つて冬期に生れた子供は夏期に生れた子供に比して發育の點に於て餘程劣つて居る樣である外へ出してはならぬといつても新鮮な空氣を呼吸せしむる事の必要は申す迄もない事である

商況

東京株式特電

十八日前場寄付 大引

日本郵船 三六七、〇〇 / 京城電氣 / 同 / 日本紡績 / 東株新 / 東京新株 / 東株第一新 / 東株第二新 / 東新第二 [illegible]

債券現物特電

東京 十八日出來値段 出來不申

東拓第…、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮殖産、朝鮮瓦斯、南滿鐵道 [illegible]

公債直取引 東京特電

十八日前場(前日との比較)
五分利 九四、二〇
四分利特別 八二、三〇
甲號五分 八三、三〇
四分 九四、二〇
五分(乙) [illegible]

深川在米特電

十八日前場
肥後米 二五、六五
地廻米 二五、〇四
内地米 二三、三八 [illegible]

東京期米特電

十八日前場 一月限
寄付 一七、四二
高値 一七、四〇
安値 一七、三三
止め 一七、三一

大阪三品特電

十八日後場
十二月限 八四、〇五 八三、八〇
一月限 八三、八〇 八三、四〇
二月限 八三、七〇 八三、五〇
三月限 八二、二〇 八三、九〇
四月限 八二、三〇 八二、五〇
五月限 八一、三五 七九、八五 [illegible]

大阪期米特電

十八日前場
當限寄付 一六、六九
中限寄付 一六、九三
先限寄付 一七、二九
め止

下關期米特電

十八日前場 當限 中限 先限
寄付 一五、八〇 一六、二〇 一七、三〇 [illegible]

雜報

●内地製粉落付く

製粉は講和説にて輸出に懸念を生じ一般に恐怖心に驅られて市場は一向見當立たず賣買共に扉を潛め仲間手合としても更に運ばれず混沌たる市況を呈し居れるが茲一兩日二圓七十三錢賈の七十五錢賈二限は七十五錢三限は七十七錢賈と二三錢方引返したり而して市場は未だ安定狀態に復歸したりと稱し難く賣買とも乍併先きの進步と見らるゝ向多かるべくされば迚ても一旦媾和説の現はるゝ事なれば其成否の何れに歸するにせよ晝夜の議論には甚分警戒を怠らざるべきを以て製粉市況も年内は到底活況を望まれ難き也

●内地糖界の氣迷

糖界は頗る沈滯として不味の商況にありしが一時立ち相場の反動として媾和説傳へられたるが爲め初めは反突如として本品類は元々頗る落付きたり然るに十八日六十錢にて突込んでの買氣も付かず十九日五十錢と直りたる後場の下押しを見せたり…

下關相場

▲朝鮮白米も安人氣 其後出廻り途切れたると目下の在米は何れも高値摑みにして餘り安くは手放し兼ねたる困惑なるも何分內地期正米安に連れ自然買氣の進まざる爲め見るべき商内行はれずして人氣安く眼先き醸入の小口取引は左の如し 本品は矢張當用小口への賣れ行きに過ぎずして市況引立つべくもあらず然れども別に産地の人氣安からずして賣り急ぎ物も又…

▲朝鮮一等白米(當用) [illegible]

●蜜柑暗痛み多し

蜜柑は續いて一日平均七八百個の著荷あるが其後の著荷も矢張損痛み物多く爲め相場も一定せざるが出來値は八九十錢より一圓六七十錢位なり

●生鱈稍買望む

生鱈は近年山にて一尾十一錢位なりしが昨今一般に買氣加はりし同時に買氣立てたる十二錢五六厘の相場となりし後安模樣なりしが昨今當地は初端十六錢堅調なり多少人氣を引返し來れり

●鐵材愈々硬化 獨逸

鐵市場は講和提議にて氣迷ひの市況に陷りしが阪神大手筋の反動的買進みにて急調直下の本品類局面展開し躍進的歩調を現はしたる折柄本國電報は更に十弗五十仙と前より五十仙を加ひ五分高を見し居たり…

●氣配強硬に傾く

…內地相場も之に附隨し市況硬化せし矢先き製罐用一分五厘以上厚板噸三百廿圓に來て西百五十圓の向きもあり…

輸出商談出來

…なりとの東京情報ありて…

●北鮮鰊昻騰

北鮮鰊は此處…

人氣頗る強硬

…同地にて大形二十八圓處なりしもの…

●生明太人氣引立

生明太も昨今の寒氣にて一時二十錢近かく落込み、過日の相場暴落にて何れも少なからぬ手傷を蒙むりしとて取引も出來ず當業者は…

三十二三圓

籾買入

京城南米倉町 龍山精米所 電話一二四番

仁川米豆取引所仲買人 ㊐仲買店 まるにち 電話 一八二・二八三番

仁川期米

大阪前寄十七圓二十九錢と一錢安二節昨止り二十七錢と小甘き移

兵庫前寄十七圓二十九錢…

㊑森仲買店

仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話 店 八九・本宅 長二〇 三五

付たると遂け持合ひの裡に小堅き成行きを示し…四節に至り買物

釜山市場 十七日

△正米 賣り物は餘り乏しからず本邦期米は昨後場より續騰の趨勢にて…

玄米一二七匁 … [illegible]

京城正米

萌 漸硬化 値頃買の思惑

…

南大門の蹉跌

▲十七日分 …

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九一二番

各地商況

▲本浦(十六日の穀物) 正米は不拂 期米の續いて下落を傳へる…

輯棲 九十錢丁度と爆發

…

仁川米豆取引所

十八日の二月限

寄付 十二圓 七十七錢 / 高値 十二圓 六十四錢 / 安値 十二圓 八十七錢 / 止め 十二圓 九十七錢 / 出來高 …

前場

平均値段 一節 十二圓 六十八錢 / 二節 十二圓 七十一錢 / 三節 十二圓 七十二錢 / 四節 十二圓 八十二錢 / 五節 十二圓 八十一錢

賣買取組高

十二月限 十一萬三千五百石 / 一月限 一二萬九千三百石 / 二月限 三萬四千五百石

十六日後場 前日と比較

市場零聞

▲遂に爆發す

▲大輸逆行

仁川滞貨が年内に

手仕舞多し

軟派筋

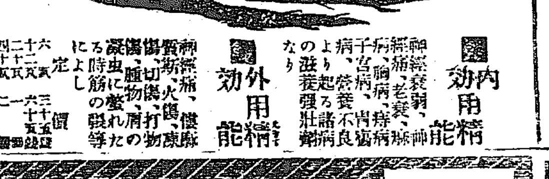
大に賣向

形勢一變す

食料品小賣値

中品及び中品以上百目に付 … [illegible]

朝鮮總督府許可



人參直取引大販賣所 人參エキス 滋養藥 朝鮮名産一切 藥餌 製造本舖 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一番

支店 京城 バザー 二號賣店 龍山支店 大邱支店 釜山支店

京城本町二丁目 電話二五一番 龍山元町二丁目 京釜線大邱驛前 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番

其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一本舖に御注文之節は直接本舖に其地方の販賣店に御依頼の事最も安全確實なり御便利に付ご代金支店共市内は御一報次第配達仕候

内用精能 神經衰弱、老衰、肺病、痔病、子宮病、胃病、營養不良より起る諸病 滋養強壯劑

外用精能 頭痛、脚氣、切傷、打傷、火傷、腫物、疥癬、凍傷、時凝、筋に虫の整れ等によし

定價 六十錢 二十二錢 四十錢

健腦丸

遂ふ勿れ腦病神經病者

島村醫學博士有効證明の健腦丸は幾多の患者が實驗して其偉効に驚く唯一の腦病神經衰弱諸症の最適藥である。常用すれば逆上を引下げ便通を快し記憶力を增し中風卒中を未然に防ぎ危險な腦充血を治す。

かゝる時腦病を自覺せよ!
一、逆上頭痛耳鳴眩暈起る人
二、神經痛み仕事手に着ぬ人
三、頭腦に重き物被る心地の人
四、便秘又夜分眠られざる人
五、頭腦茫として健忘の人
六、事務執るも直疲勞する人
かゝる兆候起る時スグ健腦丸服用を怠る勿れ

定價 一週分二十錢 四週分七十錢 十週分五圓迄

(大阪市平野町二丁目)丹平商會 東京日本橋 丹平商會支店 ▲賣捌は全國有名藥店に取次す

營業品目

肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
牛脂、椰子油、鯨油、其他
油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅蓼町 朝鮮肥料製造所 電話 二六三五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話 二五六四番 電話 九七三番 振替口座京城四〇〇番

京城太平通二丁目 日本醬油株式會社 出張所 (電話二四五番)

靈藥 人參エキス

定價 金二圓 八十五匁 / 同 金一圓 三十五日分

此際一萬個に限り定價の一割引

京城本町三丁目五十一番地 朝鮮漢藥製劑所 振替京城四一〇五番

●内外諸病適應 ●旅行中必携藥 ●滋養強壯劑 ●家庭常備藥 ●冬季中寒さ凌に妙なり ●醫師不便の地特に必要

業務擴張紀念 短期特賣

京城本町二丁目 巖松堂京城店 電話一一六六番

新設 新古書籍交換部

右新設の新古書籍交換部に於ては各科の古本類の取揃へ、購入、販賣、交換等總て便宜懇切に取扱ひ申候

右業務の擴張、新古書籍交換部の新設を紀念する爲め

自十二月十九日 至十二月廿一日 三日間限り

各種の圖書雜誌一割引販賣可仕候 但し特價品法律書を除く

尚ほ大正六年度日記類歌かるた類も例年の通り早々より多數著荷致居候間御序を以て御來店の上御覽賜はり度候

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

▲本年の讀者文藝募集締切廿日限り

一週間以內に剽窃又は同案發見通告者には五十錢書籍券を呈す(但何號と明記に限る)

豫報

明君道中記

第九席 田邊南龍口演

其座には御役人が身分の上下に依て席順を定め二行三行に列座いたす、其内に出御といふ聲がかゝるとシーツと又々警蹕と共に正面の御簾をスーと繰りますと、其處に著座いたされるは是ぞ順和奬學兩院の別當源氏長者征夷大將軍德川二代秀忠公であります、從二位の官服で立派な裝束を著け悠然と控て居ります、諸士一同頭を低げる、折から秀忠公御言葉に 秀『コレ金吾中納言秀秋の長臣稻葉内匠前名佐渡面を上げ』 内『ハ、ッ』傍より左衛門太夫言葉を添へて 正『上意である、稻葉佐渡面を上げて宜しからう』 内『ハ、ッ』愼んで面を上げると始めて見上げたる處の二代將軍家只内匠は恐縮の外無くして兎角の言葉も出ません、其内に 秀『秀秋の臣稻葉佐渡、申すまではなけれど去る慶長五年關ケ原の一戰、石田三成叛逆の砌は其方は主人金吾秀秋を勸め佐和山城を襲ひ當家へ忠義を盡したる段過分に存ずる、當時浪人いたし居るとの由、今よりは予に仕へて永く忠義を盡せ、今日より德川秀忠の臣下の列に加へるに依つて左樣心得ろ 内『ハ、ッ』又左衛門太夫言葉をかけ 正『恐れ多くも主君の上意、速に御受いたして宜しからう』 内『冥賀至極有難き仕合に存じます、然し世に存命て甲斐もなき今の身の上、何卒倅共を御召出しに相成りますれば行末永く御忠節を盡し奉つります、此の儀偏に願ひ上げます る 秀『ハ、ア汝は最早勤も叶ひ難く隱遁の身となりし上からは倅共に忠節を盡させたしとのこと是も亦最も至極のことである委細のことは含み置くであらう』茲で上意に依りまして日八分に捧げて御小姓が持來るは將軍家の御墨附

一武州入間郡川越に於て新地五千石宛行ふもの也

稻葉佐渡へ

松平左衛門太夫承之

といたしてあります、押頂いたる稻葉は冥賀至極とばかり御受に及んで居る處へ、傍よりして○『内匠殿、只今出御に相成ります若君樣へ御目通りをいたして宜しからう』若君樣とは何れのお方かと見上げると左の方の御簾を開いて靜々立出たるは是ぞ後年に三代將軍家光公と成らせられる御幼名竹千代丸樣でございます後より御介抱申して御前へ進み出たるは是ぞ乳母の春日の局であります 春『恐れながら若君樣稻葉内匠へ御言葉を下し置かれる樣に』と小さな聲で申し上げると 竹『オー左樣か、稻葉内匠とやら當家へ對して忠義を盡せよ』 内『ハ、ッ』と内匠が御顏を見上げやうといたして少しく面を上げるとコハ如何に三十路餘りになる氣高き婦人が優かに手を突へて居る

是ぞ我が妻の賜であります、内匠も驚き妻も思はず膝を進め 春『内匠殿能うまア御無事で』と流石女のこと故後は云はず只涙にくれて居ります。是は秀忠公が賜に一言も云はず突如に佐渡守事當時の内匠を召出した次第、其故輻は大いに驚きました稻葉佐渡事内匠は豫て我妻が乳人に上りしは承知であるが斯くばかり重く用ゐられて大名の奥方といつても恥しからぬ樣な品位ある人物になつて居るとは意外何事も云はぬが此度の結構は皆妻の勤めかた宜しきによつて斯くの如き身の上になりしか、家名再興をいたす處の我が妻貞操又類ひ無しと思ひましたが他人目もありますから謝すこともならず只差俯向て居ると、秀忠公は是を御覧遊ばして 秀『コレ佐渡最早安堵いたせ、其方の子息を世に出して家名相立ち上は其方は靜に老を養へよ』佐渡守こと内匠は有難涙にくれました。

曆

十二月二十日九星

舊十一月二十六日辛卯

本命一白北平赤口

△一白● [illegible] △二黑● [illegible] △三碧● [illegible] △四綠● [illegible] △五黃● [illegible] △六白● [illegible] △七赤● [illegible] △八白● [illegible] △九紫● [illegible]

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三

[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇 新時代の浪花節吉川今昔一行

[illegible]

早川町 黃金館 電話二六三七

[illegible]

緊急廣告

本社京城代理店森田太郎不都合の事有之解約仕候間今後一切同人は本社と何等の關係無之候也 東京市日本橋區新右衛門町十四番地 日本恒産株式會社

液

冬の最新美容術

とは ホーカー液の御使用で肌に柔かい循環を起し色白くキメを細かにする隱化粧の事です

冬の肌アレを防ぎ人好のする美人となる!

「と云ふ字の附られる家庭御化粧料は」只一つ…

(宮内省御買上を賜ふ)

冬の家庭化粧料 ホーカー液

これからホーカー液の季節です 紳士淑女令孃、學生、子供衆に至るまで 冬分の肌をスベ〳〵と美しくする家庭化粧料

朝 お顏をお洗ひになつた後

夕 お湯にお召になたつ後

定價 小瓶二十錢 中瓶四十錢 大瓶八十錢

送料 内地無料 滿朝廿錢

ホーカー液の効果
●色を鮮かに白くし
●きめを細かにし
●肌のアレを防ぎ
●雀斑を消滅させ
●白粉下にトキ水によく
●男子のヒゲソリ後
●お子供衆の肌を丈夫にす

三越始め……全國到處に販賣す、最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖宛御注文下さい。

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカースポート

本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六番 電話神田一四三・一四四・一四五

ライオン齒磨の眞摯の態度は

原料を精選し 工程を嚴密にし 品質を重んずる

既に社會一般の認めてゐる事實でございます。

皆樣は十分の御信頼をもつて、ライオン齒磨をお使ひになることが出來ます。

ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舖 小林富次郎

銚子港 田中玄蕃釀造

ヒゲタ醬油

代理店 京城明治町一丁目 山邑京城支店 櫻正宗發賣元 電話八四九番 振替貯金京城七五番

お歳暮には消化と囗中を爽快にする仁丹が一等!

金言 天下を動かさんと欲する者は先自ら動くべし

汽車發着時刻

[illegible]

京城日報

十九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價　本紙一部金五厘　一ヶ月金拾五錢　郵稅共一ヶ月[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通二丁目　合資會社　京城日報社
電話　[illegible]
振替貯金口座　[illegible]

第三版

十二月限　一八三、七〇　一八一、五〇
一月限　一八〇、〇〇　一八一、〇〇
二月限　一八〇、〇〇　一八〇、一〇

▲十八日前場（正米四十錢安）
寄付　一七、七三　一六、一五
高値　一七、七四　一六、一五
安値　一七、七〇　一六、〇五
止め　一七、七〇　一六、〇五

▲後場下放れ　前場強硬の賣先なるも大阪の下落を受けて十二圓七十錢と下放れたるが反つて買戻起り[illegible]其他より買物多く五錢と跳れたるも[illegible]

▲能く賣る　今後場同店より賣りたる玉數三千餘石にて他は小口商内であつた[illegible]千餘石[illegible]四千餘石に上りたりとの事一面千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲能く買ふ　後場[illegible]店より買たる玉數四千餘石に[illegible]賣ありたるも注目

▲能く賣ふ　後場同店より買たる玉數三千餘石に[illegible]

▲在庫品調査　本月十五日に於ける在庫品仁川[illegible]協會の調査は左の如し
[illegible]十五萬三千石と激増し更に新記錄を作りたり以つて如何に强弱の展入深甚なる者あるかを知るに足る者あらん

▲現物界　地相[illegible]
十一圓九十五錢十二圓十五錢[illegible]十錢等にて二千五六百俵出來たり[illegible]期米の不勢に精米筋の見送り居るより氣配安人氣にて商談歩々しからざりしとの事
▲延安[illegible]

十八日の二月米
寄付　十二圓七十錢
止　十二圓七十四錢

[illegible]
十一月限　二百石
十二月限　一萬九千三百石
二月限　十五萬三千[illegible]

東京より

○其後我政府方面に入れる情報に據るに、同盟四國政府が十二日、米、西、瑞の三國大使に對し講和談判を開くの希望あるに就き、之を聯合國諸政府に傳達せん事を求めたるは全く確實となりたり

○然れども波蘭及びリスアニアの獨立、戰爭開始前の狀態に復舊する事等、世間に傳へられたる講和條件を果して正式に開示せるや否やは疑問にして、右の諸條件が駐米獨逸大使等より出でたるを見れば、或は獨逸は正式には單に講和談判に應ずべき旨のみを傳へながら、非公式に右の御都合好き條件を洩し、不用意の間に各國官民が之に對してなす評論を見、以て其意嚮を探らんとするに非ずやとも疑ひ得べき事情あり

○帝國政府が敵國に於ける我が同胞の保護を委託せるは米國なり、米國は近來各種の問題ありたる爲め、獨逸に對しては好感を有せず、此機會に於ても恐らく深入りせざるべしと推測し得べき理由あるが、右の提議の傳達はなし來るなるべし（本稿締切迄は本野外相は米國大使の來訪に接せず）

○列國が之を如何に處分すべきや、既に倫敦宣言に依りて單獨不講和を約せる以上各自單獨に之を處置するが如き事なかるべく、必ず列國間に打合せをなすべく、而して在倫敦の列國外交代表者恐らく主として其任に當るならんと推測せらる、其結果は云ふ迄もなく之を拒絶するに決するなるべし。

○其方法として獨逸が到底應ずるを得ざる對案を提出すべきや、默殺すべきや或は獨逸の文句に倣ひたる回答書を送るべきや假に豫測すべからず或は英國はアルサス、ローレンの割讓、ボスポラス、ダーダネルス、コンスタンチノープル海峽一帶の割讓、暴行兵の處罰、償金其他の條件を聯合國の對案として出さんとの情報を傳ふるものあり。

○右は確かに聯合國側講和條件の基礎にして、客年中既に決定せられし事なるが、果して之を對案として提出すべきや否やは今後の打合せに依るものにして、各國政府が未だ正式に提出せざる今日、輕々に提出せらるべきものにあらず。

○以上の如く講和條件として、同盟國側と聯合國側との希望を對照し來る時は甚だ興味ある問題なり、知らず何れか之を滿足せしめ得べきやを。

支那銀貨流失（二）　銀貨拈

▲銀貨流失の影響

滿の結果及び其れが爲め發生せる現象は内地爲替の騰貴是れなり漢口上海の爲替は漢口洋九百六十七兩對上海規元千兩を以て平準とし昔通九百六十七、八兩間に在るに近頃は必ず九百七十二、三兩を唱へ天津上海間の平準爲替は行化銀九百四十二兩對規元千兩なるに今は常に九百五十兩左右に在り其上は銀貨充實の通商港に就きて云ふ者にて其他商業疲弊の地方に至りては上海爲替の騰貴は更に道里を以て計算す可からず從前鎭江、鎭平或は蕪湖等は昔年九百三十餘兩を以て上海規元千兩に爲替せしに去年は鎭江銀又は蕪湖銀一千一百餘兩を以て規元千兩に爲替するに至れり重慶は元と鎭平九百五十二兩を以て規元千兩に對價せしに昨年は騰貴して規元千兩は鎭平一千二百餘兩に相當するに至れり長沙爲替に至りては最も駭く可くして近年長沙銀三千餘兩を以て始めて上海規元千兩に爲替し得るに至れり此等種々の現象は皆内地現銀の日に缺乏するに由るなり即ち上海輸出の五千萬兩の如き上海固有の現銀に非らずして皆内地より聚拾し來れる者なり内地現銀日に缺乏して終に輸送す可き者なきに至れば爲替價格は必ず騰貴せざるを得ず近頭杭州、南昌の如きは現銀已に絶無なるを以て爲替に洋元を改用せり然れども其價格は常に二、三元乃至四、五元高に在り將來洋元供給大缺乏する時は其結果は仍ほ銀兩と等しからんのみ爲替價格日に騰貴すれば内地の資本は外埠に輸送せられず又外埠資本は内地に存せず金融の流通遂に斷絶して全國は活動中止の木石世界となり人民の生計は無形の内に剝奪され洋商の内地輸入貿易は必ず停滯するに至る一方には銀貨缺乏の故を以て若し過帳銀に改用せば其始めは使用の利便あらんも銀貨日に缺乏せば必ず打歩を發生し現洋愈々乏しくして打歩愈々騰り寧波の如き今年此の打歩の最高は毎百元に十九元杭州は毎百元に五元を唱へたり上海の錢莊匯兌銀の如き二三年來の打歩は極めて低少にして全く打歩なきの日多かりしが今は則ち打歩日に高くして毎千兩三錢に至り十月十五日の如きは終に五錢に至れり此皆銀貨缺乏の結果なり或は紙幣に賴りて此危機の維持を圖る者あり然れども銀貨準備日に缺乏すれば票價日に落つ（東三省官帖、湖北官錢の如き是なり）過帳銀の打歩高騰と紙幣增加との結果は必ず物價騰貴、人民購買力の減少を來して貨物停滯、金融阻碍し數年來各地商業の疲弊せるは問ずして知可し支那の國際負債は毎年平均二億萬兩に在り最近三年間の輸入超過を觀るに民國二年は約一億七千萬兩、三年は約二億一千萬兩、四年は歐戰の故を以て輸入激減して其輸出に超過すること僅に四千萬兩左右に過ぎず今年は未だ確數を得ること能はず且つ與資本過迫すれば輸出は其影響を受け一方日本よりの輸入貨漸く增加すれば恐くは今年の輸入超過額は六七千萬兩左右にて西洋輸入貨の分を併せて八千五百萬兩位となる可し而して一方には歐戰の故を以て外人の支那に投資する者日に渺なければ國際負債は必ず一億三四千萬兩以上に達す可し若し早く之が計を爲さざる時は全國に金融恐慌來るあらん（未完）

日報詩壇

○初冬書懷　高井椿堂
一曲秋懷忽北彈。疎欄立見雁行寒。碧翁似我因循太。樹上新霜未染丹。
閑思無報悔疎慵。奈生平磊塊胸。自笑老來詩債苦。一年容易又成冬。
評曰　一氣縱横擺落凡響

○訪僧不遇　小永井槐陰
攀登禪關路。香霧碧模糊。獅座不聞吼。石欄鴝鵒呼。
評曰　絶凡響

○慶州懷古　大出水鈴
半月城邊露滿稠。山川草木不勝秋。千陵如夢斯國滅。滿目荒涼令客愁。
評曰　句不弄巧情有餘

夕月　前川千帆筆

日報新年詞壇
＝募集課題＝

漢詩　課題『丁巳新年口號』『遠山雪』　但し近體古體を問はず
短歌　課題『春の灯』（一人五首以内）
俳句　課題『お降り』（一人十句以内）
（注意）締切十二月二十日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事

西川光次郎先生著
萬病根治　自然療法
東京小石川區原町六六　振替東京一五六八八　丙午出版社
定價金一圓　郵稅八錢　總振假名

從來の藥物療法に依つて得られず又精神療法によつても得られざりし萬病根治の理論と應用とを詳述し建康の維持と回復との最も自然なる最も合理的なる且つ最も道德的なる方法を指示して醫界に革命を起さむとす
西川氏著　最新健康法全書　現代に行はるる治病健康法十數種を網羅し詳解す　▲定價一圓●郵稅八錢
杉村氏著　強肺術と肺病全快談　ペークマン氏の最新強肺術と現代諸名士の全快談　▲定價九十錢●郵稅八錢
大賣捌　京城本町　電話六八四番　振替二五七三番・二〇八六番　大阪屋號書店

大正六年
樂天漫畫
北澤樂天先生の傑作
大判油繪　●遠山の雪（口繪）吉田鶴伯
●神猿（獨得口繪）渡部審伯
●教師の奇禍……探偵奇譚　覆面冠者
●少年射擊家……冒險小說　松美佐雄
●東鄉花と但馬松……小笠原少將
大懸賞　受賞千名
●旅順開城と先帝……長岡中將
●英國の密使……軍事小說　貞任將軍
●これ學校……少年小說　大井冷光

少年

東京時事新報社發行
二大子供雜誌新年號
定價各十六錢　郵稅一錢　半ヶ年分六冊九十七錢
●發賣捌全國各書店

少女
●少女音樂師……松美佐雄
●泰時と少女……永嶋永洲
●煙草の吸殼……覆面冠者
●お人形の涙……大井冷光
●二つの鐘一つの命……安倍季雄
●社頭の春（極彩謡）吉田秋光
●初日の出（極彩謡）本田庄太郎
●書初め（表紙）●姉と妹（口繪）

新年大附錄
世界婦人動章●福引　獨得口繪　附錄は極彩大報面用　玉葉女史傑作原色版

業務擴張紀念
短期特賣
京城本町二丁目　巖松堂京城店　電話一一六六番

新設
新古書籍交換部
右業務の新古書籍交換部に於ては各科の古本類の取揃へ、購入、販賣、交換等總て便宜懇切に取扱ひ申候
＝右業務の擴張、新古書籍交換部の新設を紀念する爲め＝
▼自十二月十九日
▼至十二月廿一日　三日間限り
各種の圖書雜誌一割引販賣可仕候
但し特價品法律書を除く
尚ほ大正六年度日記類歌かるた類も例年の通り早々より多數著荷致居候間御來店の上御覽賜はり度候

御歳暮並にクリスマスの御進物は
明治屋の品を御撰擇に限ります
一キリンビール　△壹打半打化粧函詰
一洋酒　△取合籠詰並に函詰
一洋菓子　△英國製折詰瓶詰各種
一クリスマス　△御進物用玩具各種
一商品切手　△キリンビール其他洋酒洋菓子金額表記何れにても調進可仕候
弊店發行の商品券は左記の本支店共通に相成居候に付何れの店にても御引換可申上候間遠隔の地方へ御呈送には最も御便利に御座候
東京、横濱、京都、大阪、神戸、門司、名古屋、金澤
宮内省御用達
京城本町壹丁目
明治屋京城支店
電話一一二二番
振替貯金口座京城四四番

如何なる御家庭にも歡迎さるゝ御進物は
國產ビール
エビス
サッポロ
アサヒ

安心の出來る丁子屋の既成品

迎春の御準備は如何に御座候哉

確實を以て名ある弊店既成部は原料の撰底と昂騰せる製品に不拘不相變豐富なる製品を廉價に提供し得るは弊部の誇とする所に有之候
誇　職工が夏期の閑散期を利用仕候事とて坊間の出來合品とは大に其趣を異にせる弊部の更に更に大なる誇と致す所に有之候
地方御注文に就て

既成品の種類と値段
●長トンビ
地質（霜降メルトン）裏甲斐絹又は（縞スコッチ）アルパカ
甲廿五圓、乙廿二圓、丙十九圓
上頭巾付き極仕立寸法　三尺より三尺五寸迄
●オバーコウト（洋服用兩衣用二種）
地質（霜降メルトン）（縞スコッチ）（黑メルトン）（裏朱子或アルパカ）
甲二十圓、乙十五圓、丙十二圓
●婦人コウト
地質（セル）（カルデ）二種（肩裏付き）
甲十六圓、乙十三圓、丙十圓
●將校マント
和服にも洋服にも周衣にも向く
地質（黑ラシャ）（縞メルトン）（裏アルパカ、朱子總裏付き、衿ベッチン付き）
甲廿三圓、乙十七圓、丙十二圓
●小兒マント
男兒用（黑ラシャ製（裏は縞朱子或は赤ネル））
寸法（四寸）二尺八寸、二尺、二尺二寸、二尺四寸、二尺六寸、二尺六寸の六種
價格四圓五十錢（一尺八寸）より凡そ一寸廿五錢上りに有之候
女兒用（鼠、紫、蝦茶、青等の色ラシャ製）美麗なる刺繡入
寸法各種
價格三圓五十錢以上十二圓迄各種
右は別に見本切無之候間御注文の節は御年齡、寸法、値段等御申越被下候はゞ弊店にて充分審議仕候御見計ひ御送附可申上尤も御氣に叶不申候節は何時にても御取替可申候
京城南大門通
丁子屋洋服店既成部
電話二三・六九〇・二二〇番　振替口座京城二八八番

講和提議傳達期

獨逸の講和提議は米國政府に於て何等意見を附することなく聯合諸國へ電達することに決し日本への分は佐藤駐米大使へ交附されたる由なれば多分十七、八日頃外務省に着電すべしと(東京特電)

選擧法改正案發表

横須賀外十七市の獨立を認む

內務省は十八日選擧法改正案別表を發表せり要は各市獨立の外更に尼ケ崎、福山を加へ郡部の二十六人增加案を捨て又市の人口增加に伴ふ增員十二案を廢すと言ふにあり即ち現行選擧法は市部は三萬人に付郡部は十三萬人に付各一人を選び端數は四捨五入とせるも一木案は端數切捨主義を採り人口增加に依る增員案を排斥せるが今回の改正は右人口の標準變更は畢竟大にして之を審査を要すと謂ふを理由として之を保留し單に市區の獨立に就てのみにて左の十八市の獨立を認めたり(東京特電)

横須賀▲尼ケ崎▲佐世保▲長岡▲高田▲宇治▲山田▲豐橋▲岡崎▲濱松▲松本▲福島▲呉▲福山▲若松(福岡縣)▲大分▲旭川▲那覇

遣日特使出發變更

特派專使熊希齡氏は二十日北京出發の豫定なりしも著早々日本の歲末に遭遇するを以て一月二日出發のことに變更せり(北京特電)

露艦隊石油坑破壞

露國艦隊は勃國沿岸の波的港(羅馬尼の國境)附近を砲擊し同地方の石油坑の破壞に努めつゝあり(桑港電報)

獨軍英軍戰線突破

獨軍はマセドニアのヂルビーク東南に於ける英軍第二線を突破して之を占領したり又獨勃第八團はブゼウよりピオイシュールに至る道路に到著したり(桑港電報)

講話世論下火

講和提議問題に對する世論は漸く下火となれり(東京電報)

株式市場解停

立會停止中の大阪株式市場は豫定の如く十八日より解停取引を開始せり同日前場出來値は停止前に比し東新株六十一圓當株六十二圓安に大引せり其他の諸株又安し(大阪特電)

西園寺侯東上

西園寺侯は十八日京都出發東上せり(大阪特電)

甲山銅鑛近況

某視察者談

久原鑛業所經營の甲山鑛山にては既に巨大なる二基の鎔鑛爐の据付を了すると同時に一切の設備工事を完成して十一月三十日鎔鑛爐の吹入式を行ひ引續き銅鑛の精錬に著手し居れるが目下一日の精錬數量は約三百噸の豫定なり精鍊品は九十五プロセント位の殆んど純銅と等しきものなるが這は馬背にて城津港に搬出し更に日立鑛山に廻送して電氣分解機に掛け金、銀、銅の純精品となすものなりと云ふ而して起業諸材料の中鐵材セメント等の重量品及び其他の急を要する物資は之を新昌線より搬入し石炭、雑貨、食料品等は城津より搬入しつゝあるが本年六月以降十一月末日迄の運賃支出額は新昌線十一萬五千圓城津線五萬圓に達せるが尚ほ線共繁な搬入しつゝあり甲山鑛山は目下事務を庶務係、調度係、工作係、採鑛係に分劃し更に機關部、電氣部、鐵工部及び選鑛部等の專屬部の設けある外調査係には購買部運搬部倉庫部及び供給部の專屬部ありて秩序整然たり而して供給部には日用諸雑貨及び食料品等を備へ傳票供給をなし居れるを以て不自由なる同地に於て容易に且つ廉價なる物品の供給を受けつゝあり銅居市街は久原の起業前までは內地人六戶朝鮮人二百二三十戶に過ぎざりしも現在にては內地人五百十二戶朝鮮人二百八十七戶支那人六十二戶を算する數の發展を來し居れるが內地人學齡兒童も少なからざるより近く學校組合を設立して小學校設置の計畫あり尚ほ銅居地方は寒氣甚しく嚴冬中は寒暖計零下四十度以下に降る事あり既に本年十一月二十七八日の如きは氷點下二十三度に氣温降下せりと(清津)

豆滿江の結氷

國境なる豆滿江は本月九日より全部結氷一兩日中に橇の交通を見るべし倘本年の結氷は昨年と同日なり(安東縣特電)

鮮銀總裁を迎へて

▲二大會社の首腦揃へり

○市原盛宏氏が昨年の秋落葉の頃に長逝して以來、一年ばかりの間に、朝鮮銀行は三世の總裁を迎へた。○勝田主計氏來つて二世總裁の椅子に就いたのが昨年の十二月二十九日で、鮮銀の經營も著々進績を示して世人の注目を惹いて居たが、勝田氏は本年の七月十六日に京城發東上した儘、寺內々閣の成立と共に、帝國財務の要路に參し、十月初旬には鮮銀總裁の正位が空しくなつた。勝田氏は電火の如うに、閃めいたかと思ふと直ぐ去つて仕舞つた。○美濃部俊吉氏を今回三世總裁として京城に迎へることを得たのは、総だしい致勢の產み出した結果に外ならぬであらう。而して勝田氏の去るを惜んだ人々は、美濃部氏の來るを喜んだ。鮮銀の爲めに良總裁を得た事を、一般に認め慶した。

○新總裁美濃部氏は十七日夜南大門驛に著いて京城の人となつた。記者は、其日京釜線秋風嶺に行つて、來任途上の同氏を迎へた。○冷たい空氣に暖かさうなスチームを漲はして著いた北行列車の一等室に、美濃部氏は三島理事と相對して坐して居た。其の下手には新たに秘書となつて來る曾禰安輔氏と、釜山まで迎へに行つた大原秘書役とが對坐して居た。安輔氏は故曾禰子爵の令息である。三島氏が記者を總裁に紹介すると、美濃部氏はやをら起ちあがり、靜かな聲で叮嚀に『是れはどうも、有り難う』と、目禮を與へて席を備める。○美濃部氏は記者にとりて新らしい人ではない。東京で拓殖銀行の總會で、頭取として會長席に於ける同氏の謦咳には兩三度接した事がある。眞率な穩やかな人であると思つた。又傍で人からも圓滿な穩かな人だと聞いて居た。初めて言葉を交へて、其の新聞記者に接する態度を見るに少しも飾らしいところがなく、城府を設けず、極くさつぱりと應接する所に垢ぬけがして居ると思つた。勝田氏もさうであつた。○美濃部氏は靜かな、つゝましやかな紳士である、故らに話をするのでもなく、寧ろ寡言であつたが、其の言葉は謙遜であつた。人の話を注意して聽いて居ては一々静かに頷いて居た。○未だ天命を知る齡には達せぬが、其の頭髮は餘程白きを見せて居る。得のない眞面目な顏が、よく其の穩かな態度に調和して居る。此の顏は酸い甘いもチヤンと解つて居る顏である。記者は美濃部氏に接して端なく西園寺侯を聯想した。○總裁に三島氏と僕と鼎座の席は、時局談やら戰爭談やらが交換された。食堂で晚食が濟んだ頃には水原近くなつて居た。水原まで出迎へた木村理事、西村一銀、中村京銀、並びに鮮銀の中村、阿部、飯泉、島尾氏等幹部の人々其他が乘り込んで、急に賑かになつた。永登浦、龍山で又人が殖ゑて見れた。室が一杯に混んで來た。斯くて南大門驛頭は多勢の人であつた。總裁を乘せた鮮銀の自動車は、總裁には七八年振りで鍍つて見ゆる京城の大通りをホテルへと急いぜ。○これで東拓も鮮銀も首腦者が揃つたのである。二大會社の陣容が整つたので、永く氣拔けのしたやうな京城の經濟界も、何とはたしに賑かになつた心地がする。先づは芽出たしと申すべし。(中島生)

鐵道代辨取扱注意

朝鮮鐵道にては豫て一般荷主の便を圖り移出貨物に對しては荷主の依賴に應じ▲通關代辨を爲し居るも近來荷主側より提出する代辨依賴狀の記載方に粗漏なるものあり其の一二例を擧ぐれば現品に荷印ありて依賴狀に記載なく又現品の荷印と全然相違せるもの猶ほ甚敷に至りては記入せる荷印の外一箇の以に數種の荷印を押捺せるもの等なる由にて其等の如きは連絡地點の稅關は勿論鐵道の通關手續上頗る支障を來し爲めに運送の遅延を生ぜしめ荷捌上甚迷惑を感じ居る由に付▲一般荷主は其代辨依賴狀には必ず現品と符合する品名荷印等を詳記し玄米、白米、糯米の如きも單に米と記載せず其品種を記載する樣勵行して如此手續上の粗漏より生ずる不便を避け度しと當事者は語れり

總督歡迎相談會

長谷川總督歡迎の發起人會は十八日午後三時より商業會議所に於て開會出席者は原田金之祐氏を始め其他十數名にして歡迎の方法につき協議の結果期日は二十四日より二十七日迄の間に於て總督の都合を伺ひ擧行することゝ會費は三圓以上とし會場を朝鮮ホテルとすることに決定し兩日中に原田發起人より總督の都合を問合すことゝなり四時半散會したり

最近竣工せし東拓の工事

全南宮三面並に全北羅岩里の灌漑工事

▲宮三面の機力用水 全羅南道羅州郡通稱宮三面の內良谷及び旺谷の二面は地味膏沃にして地勢は榮山江の左岸に接せるも惜むらくは地盤高く江水低きを以て古來貧弱なる溜池を有する外用水の設備なきを慨し東拓會社は該二面に亙り田及び乾畓二百十町步餘を機械力によりて

▼開墾灌漑 せんとし本年六月二十八日總督府の許可を得て起工せり然るに本年は南鮮地方の雨量極めて多く洪水頻々たりしも幸にして甚しき支障なく進捗し今回工事全く成る費すところの工事費總計約金二萬六千圓にして其主要なる工事次の如し揚水場は羅州郡良谷面眞府里地先に於ける榮山江渡船場の下流約二十間の地點を相せり蓋し平時揚水上の利便と洪水時に於ける危險とを考慮せるものにして此種事業の起點として絕好の場所なり場所は高き干潮位上三十五尺の堤防を以て圍繞せり江水は三尺角鐵筋混凝土造潜管を通じて一端吸水井に入り調節池を經て

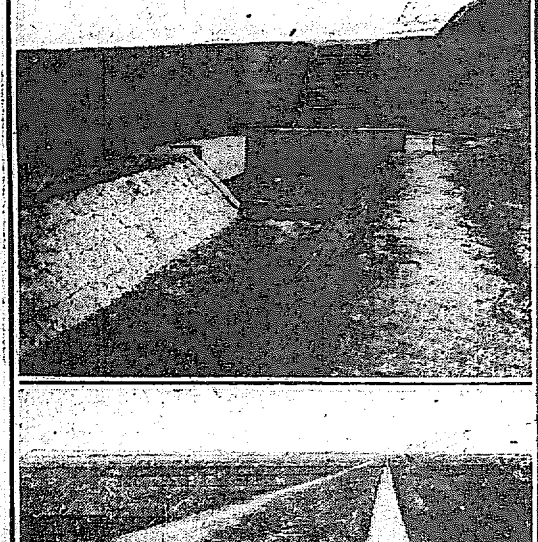
▼用水幹線 水路に注流す機關室には五十馬力吸入瓦斯發動器及び十四吋離心動輸喞筒各一臺其他附屬諸器械を設置せり其揚程最大干潮時に於て二十四尺揚水量每秒八立方尺なるも將來の擴張を慮り機械は猶若干の餘力を存せり用水路は比較的高き處を經幹線延長二千四百四十八間支線六百十八間とす其底幅三尺五寸乃至二尺にして必要の箇所には掛樋橋梁を架設し又は樋管を埋設せり

▼寫眞は調節池 にて該池は縱二十尺橫十二尺深四尺三寸の混凝土造にして揚水管より噴出せる水勢並に水量を緩和調節する所にして圖は揚水の開始の狀況なり

▼羅岩里開墾 全羅北道益山郡羅岩里所在錦江に面せる國有未墾地約百四十八町步は東拓に於て大正二年十月貸付を受けたるものなるが引續き同社にて調査を遂げ內百十四町步を面に開墾のため本年四月起工せり然るに數次の水害に遭遇し困難を極めたるも幸に甚しき支障なく今回完成を告ぐるに至れり費すところの工事費總計約金三萬圓にして其主要なる工事左の如し

▲堤防延長二千五百三十三間▲樋門四箇所▲用惡水路延長七千九百八間▲橋梁二十六箇所

寫眞は第一堤防より南面して第一水路及び其附近を眺望せる實景なり



(上)宮三面機械力用水調節地 (下)羅岩里開墾地

浮石寺工事近況

目下保存改修工事中なる慶北浮石寺は本年內に於て事務室、職工宿舍新築、祖師堂、無量壽殿の改修豫定なるが須家根取壞工事は已に竣へ祖師堂は全部取崩し再建の基礎工事を了し有名なる祖師堂內部四天王の壁畫は其儘壁を切拔き別に鄭重に保存し無量壽殿は目下取解き中にて壁、家根虹梁を取解き內陣は其儘に保存し須彌壇は別に上家を設け鄭重に保存し本年の豫定工事は廿六日を以て一先づ段落を告げ更に來年三月一日より工事を繼續する筈なりと(大邱)

鮮銀券發行高

本月十日より十六日迄に於ける朝鮮銀行券發行平均高は四千六百四十萬五千三百六十一圓內保證準備發行平均高三千萬圓正貨準備發行平均高一千六百四十萬五千三百六十一圓なり

古海總長の招待

古海總務長は二十日午後六時花月に當地實業家を招待すべし

平井博士通過

支那交通部顧問工學博士平井晴二郎氏は十九日北京出發越年の爲め朝鮮經由內地に向ふ由なるが南大門驛通過は二十一日午後七時五十分なりと

入澤部長出張

入澤京畿第一部長は二十日出發同日龍山郡に開催の農產物品評會賞品授與式に臨み歸途水原に於ける管內狀況を視察すべし

人事消息

▲木越理事(北海道拓殖銀行頭取) 十九日午前八時三十分南大門驛出發

▲村瀬鎌次郎氏(鐵道院囑託) 十九日朝退京

▲棚瀨軍之佐氏(代議士) 同上

▲黑住猪太郎氏(黑住農場主) 十八日夜退京

▲野口左內氏(京東興業社理事) 同上

▲外山一造氏(極東殖產社員) 十八日夜入京二見旅館へ

南言北語

獨逸の諸新聞は獨逸の講和提議に誠意のない事をさらけ出して居る▲中には何うして纏まるものかなんて笑つて居るのもある▲さうかと思ふと獨逸の講和條件はまだ判らないが條件をすつかり見せたら其の樣なものでもない案外穩當だからと贊成して居るのもある▲更に今の處では交戰各國から代表者を出して適當の講和條件を發見しやうぢやないかと云ふにあるらしい▲獨逸は愈々平和會議を開くと云ふ事に決定したら條件を提示せうなんて好きない事を云つて居る▲其の内聯合國の講和條件と云ふものが現はれた▲鳥渡電報としては居眠ものだが併し聯合國が彼れだけの條件を提出するのは當然だ▲最う少し條件を澤山出しても好かり相な▲大隈侯が首相を辭した時の優詔は他の元老に比して聊か簡單の樣であつた▲其れに就て秘中の秘とも云ふべき一説が傳つて居る▲何でも彼の優詔を賜はる迄には波多野宮相が大に骨を折り國府犀東が執筆して大分褒め上げた却々の長文であつた▲之がやがて元老會議に出た時諸元老は無言で見て居たが西園寺侯は筆を呼んでサツサと朱線を引いて眞ツ赤にした▲其後大隈侯に御下賜の優詔は朱線を脫した部分丈けだつたらしいと京童は傳へて來た

□師走の東都より 大塊

北微の雪見つ覺むや江戸の夢

株式等の崩落騒ぎを見て

カイゼルが一番雪を消す世哉

商業登記公告

內國通運株式會社ハ大正五年拾貳月六日存立時期ヲ大正參拾六年拾貳月參拾壹日ト變更シタリ

同會社取締役平川潤亮ハ大正五年拾貳月九日其ノ住所ヲ東京府荏原郡入新井村大字新井宿貳千七百參拾八番地ニ監査役山田源之丞ハ同日其ノ住所ヲ兵庫縣神戶市荘合町字四拾號地五百拾四番地ニ各移轉シタリ

右大正五年拾貳月拾四日登記

漢城材木柴炭株式會社取締役崔相敦ハ大正五年拾貳月參日死亡シタリ

株式會社輸業商會ハ大正五年拾貳月拾日淸算結了シタリ

右大正五年拾貳月拾五日登記

六株式會社明治屋ハ大正五年拾貳月拾四日其ノ支店ヲ京城府本町壹丁目貳拾八番地ニ移轉シタリ

右大正五年拾貳月拾六日登記

京城地方法院

購買

朝鮮總督府遞信局

競爭入札 一、寄性加里、炭化石灰 一、共電式案內臺 壹臺

詳細ハ十二月十八日ノ本府官報ニ在リ

大正六年日記

博文館發行: 當用日記、懷中日記、ポケット日記、家庭日記、家計日記出納記入帖、英文當用日記、英文懷中日記、家長原簿、農業日記、重要日記(實業之日本社)、婦人日記、懷中ノート、新式當用日記(大倉書店)、實用家計簿、家政日記(金港堂)、新英文日記(研究社)、大正日記(富山房)、國民日記(民友社)、俳諧日記(俳書堂)、修養日記(東亞堂)、文章日記(新潮社)、新案當用日記(太陽堂)、家計簿(婦人之友社)、主婦日記、俳句日記(東雲堂)、短歌日記、新式懷中日記(松要館)

新式婦人日記、新式實用家計簿、大正六年御暦、標準かるた(東京かるた會取扱證札各四〇 一〇 郵税不用)

京城本町二 電二〇八六 大阪屋號書店 振替京城二五七三番

おこと屋

年末年始御贈答用に最適當なる造花 枝物、籠もり、鉢植等各種

日本一の東京栗田製 羽織紐

披布、道行、コートのかざり

學校手藝用材料 京城明治町筋 電二一三五九番 尾琴屋

京日案內

普通

◎七百坪の廣濶なる地面に住宅附きにて現に養鷄事業を經營しつゝあり至急讓渡たし (姓名在社) 934

店員入用 京城南大門通四丁目電一三〇 福田印刷所 927

料理講義錄正月號出來直に配本す新入會者ははがきにて御申込下さい 京城旭町一の一三六 朝鮮割烹講習會 924

◎讓店 雜貨店にして賣藥化粧品小間物其他日用前途多望の老舗也獨特的の有利と共に 姓名在社 887

◎低利商人官吏へ金融秘密嚴守 旭町二丁目六番地 江崎 東京旅館裏 904

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆 郡書堂 896

番外

門松卸販賣 弊店所有山林の物三萬本迄極廉價にて貴需に應じ可申候 京城本町三丁目 電話九三五番 森川商店

奬學金一百二十圓也提供 內容規則書申越次第進呈 京城旭町二丁目七九 朝鮮通俗教育會 927

唯一の自家修學機關 規則書御申越次第進呈 京城旭町二丁目七九 朝鮮通俗教育會 936

▼清酒大安賣 ◎龍山大島町 上原酒造場 930

年末年始贈答品特殊のものは 朝鮮土產人參 美麗木箱一斤入 京城府長橋町六十番地 高麗參莊 金龍商會 電一八九三 932

◎玄米餅の御注文に應ず 壽町 玄米堂 933

獨立 景品付歲暮大賣出し 簞笥火鉢製作世帶道具卸 京城本町三丁目一五番 電話二三一 振替二八三 橋本商店 928

◎銃砲火藥自轉車 ◎京城◎太田◎公州 瀧川銃砲店 854

銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 916

◎質 勸業債券貯蓄債券買致候 京城本町四丁目 電話一〇二二番 福田屋 922

勸業貯蓄債券高價買入致します 地方は書留郵送次第代金差上ます 京城長谷川町五八(朝鮮銀行橫) 日本勸業銀行債券月賦販賣所 541

空間あり室內共住 湯殿設備完全親切丁寧 西大門中學正門前 電話二二六五 優翠旅館 906

◎質 ◎弊店の特色は秘密を嚴守し完全なる倉庫の設備を有し勉强懇切に御取扱申候 支那領事館筋 電話一〇九六番 南質店 909

恩給年金 即時立替月利壹步二厘五毛 三年迄無保險 京城南大門外御成町 西鮮支店 京義線沙里院 山口屋 廣川商店 843

◎株 成金愈々續出す 大阪野村德七代理店 京城本町二丁目 電話(長)九九三番 田中友吉商店 836

恩給年金 低利長期即金立替 短期無保險及無手數 ▲京城永樂町一 商品陳列館表門前 江州屋本店 848

鴨江全部結氷

愈々橇の交通を見ん

廿日來の酷寒にて鴨綠江は十七日夜……

……歐洲……地に於てもアルカリの不足を感じ又……滿洲に於ても品拂底の爲め必需工業……競爭に到底堪へ難き事と云ふにあり……

クリミヤ半島から

朝鮮を通つて、遙々米國へ留學に

京釜線列車にて快活な露國青年と語る

曰く『日本人はステッキで飯を喰ふ事を止たら何です』

十七日の朝南大門を發して釜山に向ふ急行列車の二等室に男女兩個の西洋人が相對して席を占めて居つた、男の方は

◇まだ二十歳を多く は出ない青年で、女の方は二十七八にも見わた、長い旅らしく、女は多少窶れた氣味で窓に凭り掛つて頭髮の亂れを氣にし乍ら頻りにかき上げて居た、ボツリ〳〵何か話し合つて居たが記者は俯き加減に姉弟だなと受取つた、彼等の膝の間に鞄を置いて

◇其上に紅茶の器こ 例の八角のスタカン（コツプ）などが置いてあるのが直ちに見れば露西亞人だと頷首せた、青年は可なり高いが顏は頗る可愛い活潑に滿ちた青年は頻りに英字新聞を引つくり返して戰爭の電報らしい處を熱心に讀んで居た、彼は英語を話すと見たので記者は彼れが最う讀むものもなくなつて所在なさうにしてる傍へ寄つて試みに話しかけた『君は日本へ行くのか』と聞いたら、思はぬ話敵を得たのを大に喜び乍ら彼は可なり流暢な英語で『さうだ、僕は桑港に行くのだ、さうして直ぐ亞米利加に渡るのだ』と答へた『何しに亞米利加に行くのか』と問ふと『サンフランシスコに行つて勉强するのだ、高等學校に入つてそれから普國の大學に學ぶのだ』と彼は

◇希望の眼を輝かせ 乍ら『横濱出帆の汽船は何日何とい ふ船が出るか教へて貰ひたい』と聞く『それは釜山のステーションホテルで調べると宜い』と答へると彼は『サンキュー』と云つて安心した『一體君は露西亞人なのか』と訊くと、彼れはグット反りかへつて『勿論だ僕は忠實な露西亞國民だ、僕の故郷はクリミヤ半島だ、君クリミヤを知つてるか、そら斯ういふ地方だ』と新聞の端に鉛筆で

◇黑海沿岸の略圖を 書き乍ら『そら此處がクリミア半島で、此處がセバストポールだ、其の近くにシンフエロポールと云ふ町がある、此のシンフエロポールが僕の生れ故郷で僕は其處から發つて來たのだ』と云ふ、記者は反問して『君は純露西亞人だ、而して君の祖國は今まさに大戰爭が起つて居る、君の郷里から程遠からぬ處で君の同胞は戰つて居るではないか、君の國ではペトログラードだつて、莫斯科だつて大學もあれば高等學校もある、然るに何故君は祖國を遠く離れて亞米利加にまで行つて學問せねばならぬ必要があるのか』と云へば彼れ青年は二三度眼を瞬き乍ら『僕の國は獨逸を討つて居る、全國民が戰爭の爲めに努力して居る、さうして僕の兄は戰線に銃を執つて居る、僕が故郷を出發するまでは兄はまだ死んでは居なかつた、僕の名はアルフレツド、フエルストーと云ふ、僕はコンスタンチノープルで三年間英語を習つた、それで一通りは英語が出來るので、少し志があつて

◇中立國の亞米利加 で自由に學問をしたいと思ふのだ、それが僕の爲めには最も將來得策だと思ふのだ、亞米利加の經濟的進步を實地に見て、世界の大勢を知り得る事は露西亞人として本國で今日の場合勉强するよりも遥に有力なる事があると思ふ、僕が米國で勉强するのも祖國の爲めではあるまいか』と青年だと思つたので彼れの心を窺んで大に彼れ氣焔を吐く、記者は面白いな方面で差いて見た、要するに彼は

◇充分の愛國心を持 て米國留學に赴くものらしい『お前さんの目的は何か』と彼れは逆襲を喰はせたので『僕か、僕は新聞記者だよ』と答へると『すると記者か、さうか、名刺があるなら呉れないか』と云ふ、名刺を與へると、これは日本字だらう、英語に直して呉れと云ふ『今日のニユースを聞かして呉れ、戰爭の報道を』と迫るので一つ二つ數へてやると『講和問題はどうなつたか』と聞く、駄目だ聯合國は取り合はぬよと答へると彼は昂然として『さうだらう、今日講和したら僕の祖國は大損だ、ね君、スチユルメルが宰相をやめたのも彼れが單獨講和說に傾いた爲めではないか、我が露西亞帝國は獨逸を粉碎しない間は講和をしてはいけないではないか、僕は獨逸人は大嫌いだ』と叫ぶ、『そんなら君は日本人は好きか』と問ふと『うん、大好きだ、日本は

◇非常に露國を扶け て呉れてる、彈藥其他軍需品を供給してくれる、日本は露西亞の親友だ君も知る通り、露西亞兵は強いのだ併し殘念な事には武器彈藥が足られ若し露西亞兵が敗けた場合ありとすれば、それは彈藥の不足が然らしめたのだ、日本は背後から之を補充して呉れてる、全く日本人には吾々は感謝して居る、君等が僕の國に來たら大に歡迎されるよ、併し敢て問ふが何故日本は歐洲に軍隊を出さぬのか、青島で

◇獨逸を討つた日本 は何故更に進んで歐洲に出兵せぬのか、僕等露人は之を希望して居るのだ』と云ふ、記者は『日本が歐洲に出兵せぬのは種々デリケートな關係があるぞ、歐洲へ出兵するには費用丈けでも大變だぜ、それよりか軍需品を君の國に供給して、君の國の多兵を充分働かせる方がいゝよ』と答へると彼は『成程デリケートな關係があるのかね、併し日本が出兵して呉くと平和の時に日本は出兵せぬ場合よりはもつと有利な條件を持ち出せるのだがなあ』と云ふ、記者が更に突込んで『お前の國も財政は苦しいな、戰爭と貧困……』と云ふと……口をキリヽと結んで一寸默した後『然り、併し乍ら露西亞は……ないぞ、富源國だよ、アンエキスプロアード、レゾーセス（未開發の富源）は無限だ、心配しちやいけない』と威張る、彼は

◇沿道の水田を眺め 乍ら『朝鮮は米が出來るか、日本の農産物は米だね、露西亞でも米は喰ふよ、日本人は二本のステッキで米を喰ふが露西亞人はフオークで食ふよ君等もステッキをやめてフオークで食つてはどうか』と妙な所で忠告を呉れる、京城の人口は何程か三十萬？國分大都會だな、僕の郷里シムフエロポールは二萬はないが町は立派だ、電車もある、東京の家屋は何階建てか、石造か、君は哈爾賓に行つたか、哈爾賓は汚ない町だ』と獨りで喋べる、記者が『獨りで長旅行は淋しいだらう』と云ふと『父が

◇哈爾賓まで送つて 來た、此處に居るのは』と婦人を指し『僕の知人だ、此の人は長崎まで行くのだ、大陸は大きいな、故郷から朝鮮まで既に一箇月間汽車に乘りづめで、途中十五度乘り替へた、朝鮮の汽車は奇麗だ、日本の汽車は小さいさうだね、僕の身體が窮屈に感じられるかな、長春のヤマトホテルは良いね、併し高い！ね、三日居て三十圓取られた』と、記者は此の愛すべき青年と殘念乍ら秋風嶺で別れねばならなかつた『さらば、君の爲め一路平安を祈る』と云ふと彼は記者の手を堅く握つて『有り難う』と繰返して南へ去つた、彼れの父は此の青年が機嫌に響いた戰報を受取つて安心する日だらうな

帶を　お太鼓結びに締めて

袖口より紅き鹿の子絞りを覗へしつゝ

スチンソン孃第一日目の飛行

スチンソン孃第一日の飛行は十八日午後一時より行はる此の日孃は茶立縞の御召に菊模樣志津織帶をお太鼓に結め袖口より紅き鹿の子絞りを覗しつゝ茶の外套を羽織り紺色の飛行頭巾を裁き黑の靴等き和洋折衷の珍妙なる姿にて機上の人となり滑走卅米突の後濃霧中を飛翔し五十米突を保ち波狀三周の後左翼の支柱より日章旗を出し間も無く空中滑走にて着陸大喝采を博せり（東京特電）

自動サイドカアと自轉車の衝突

十八日の午後四時京城日報社東側黄金町通りと鐘路町角の出口に於て洋人の自動サイドカアと內地人の自轉車とが衝突し自轉車は前輪をメチヤ〳〵に四まされたる椿事あり洋人側は京城西部冷洞なる基督教神學校々長ケーブル氏及び江原道原州邑居住の同夫人にして之れに鮮人通譯一名同乘し黄金町通りを本社前より左にとりて大平町通りに向はんとする刹那これとは反對の方向より西方本社前を疾驅中なりし土地調査局雇員中原林三氏の自轉車と衝突せるものにして兩者共衝突の刹那路上に轉覆し自轉車はサイドカアの下敷きとなりたるが一時はなか〳〵の騷ぎなりき猶ほ中原氏は左足の下腿部を負傷せる樣子にて外人側は轉倒したるまゝにて何等の損害及び負傷なく兩者共一先づ其のまゝにして引取りたるが何れ示談にて事濟みとなるべしと

小倉女史の招待會

朝鮮ホテルに滯在中なる東京音樂學校講師小倉女史のため十七日は午後三時半より東京音樂學校の同窓會にては朝鮮ホテルにて茶話會を催し山縣五十雄氏夫人其他數名出席したるが更に十八日午後二時より西大門外丹羽清次郎氏方に於て神戸女學院卒業生同窓會を開會し小倉女史及びまり子夫人を招待せり尚ほ十九日正午は渡邊高等法院長の主催にて午餐會夜は五時半より朝鮮ホテルに於て阿部本社長の晩餐會等あり引續き二十日より二十二日正午に至る迄淑明高等女學校學監淵澤女史、中央青年會のブロックマン、松本辯護士、尹致昊氏等の招待宴會ある筈にて李王家を始め其他二三主なる人々の招待も目下協議中なる由

小倉女史音樂會は今晩

朝鮮ホテルにて開催する慈善音樂會は愈今十九日午後八時より同ホテルの大食堂に於て擧行し小倉末子女史其他京城の外人團の音樂家數名出演する筈なり入場券は前回に發行のものも今回新發行のものと同樣通用し又入口に於ても一等三圓二等二圓の料金を支拂はゞ何人にても入場差支なしと

贈答品には　ちゝぬ銘仙　ゑびなや

金筋組の一擧打網

京城本町警察署管內にては年末に際し各地より流れ込みたる內地人博徒及び鐵道工事の浮浪者増加の傾向あるを以て豫て是等の手輩に就ては擧動を調査しつゝありしが十八日午前六時を期し多數の警官を以て一齊に襲擊し其の寢込みを取押へて引揚げたるが其數三十六名ありと是等は何れも留置して目下取調中

天才を育くんだ隱れたる温き力

まり子女史の苦心＝末子女史のお母さん代り

今日朝鮮ホテルで晴の演奏

一藝一流の達人と云はれ名人と謳へられる人となるまでには其人自身の奮勵と努力は勿論必要であるが更に委細に其爲人を調べて見ると其裏面には隱れたる力があるものである。十九日の午後七時から朝鮮ホテルの大食堂で

◙名曲を奏でようと云ふ小倉末子女史を今日の名人とならせたのは令兄小倉庄太郎氏夫人まり子さんと云ふ人があつて末子女史が三つの年から廿五歳の今日迄陰になり陽になつて護り立てゝ來た其『力』である末子さんは少さい時には東京に居たので今の義姉のまり子夫人とは

◙殆んど隣合せであつたが三ツ位の時から大變まり子夫人が好きで閑さへあればお母さんの處よりもまり子さんの家へ行くと云ふ風であつた、處が末子さんが五ツになつた年の秋も央散り近く桐の一葉と共に父君は此世を去つた

◙臨終の間際 にまり子夫人を招いて『末子の將來を何分宜敷御賴申す』と云て永久の眠りに就いたのである。それから間もなくまり子夫人の手に引取られて幼稚園に通ふやうになつたのである。まり子夫人の話によれば『末ちゃんを私の手で世話することになりました時分は私達の一家が

◙神戸に移ること ゝなつて居りました、生れてから大變體が弱いので試みに醫者に見て貰ひますと此子供は永くて十二三年早ければ七ツか八ツで死ぬと云はれるのです、初めは大變失望もしましたが出來るだけやつて見るつもりで食物から温度の具合又は

◙運動の時間 などにも非常の注意を拂ひました、併し天性つき物事に凝性な兒で五ツの時に幼稚園に入れますと遊戯の傍大變に繪が好きなので私は其れを利用してピアノの繪を敎へてやりますと非常に嬉しがつて簡單なピアノの記號迄覺えて終つたのでございます

◙幼稚園が濟んで小學校に入學する時分にはピアノの鍵盤を全部暗記して譜さへ見て居れば手の方は見ないでも彈ける位になつて參りました、私しは末ちゃんがピアノに對して天才的の技能を持つて居るやうに思はれたので八歳の時に或外國婦人を宅に傭入れて敎へることになりました、何んでも其時に末ちゃんが

◙鍵盤の方を 見ずして彈きますのでほんとうの年を云はないのだと思つて私にも末ちゃんにも八歳ではなくて十歳なのではありませんかと申した位でございましたそれから神戸女學院の高等科の音樂部を卒業して獨逸や、米國の音樂學校で敎へたり學んだりする間でも常に私は

◙末ちゃんの お父さんに賴まれた責任の上から一日も側を離れたとはなく附いて居ますが御覽の通り體が弱うございますので衞生と云ふ點に付ては人一倍の心配を致します末ちゃんは其後十六の年にお母さんが亡くなられて今では全くの孤兒となりました、兎にも角にも皆樣の御同情で今日のやうな

◙名譽を擔ふ ことが出來るやうになり一人前の音樂家となりました姿を只一目なりとも兩親に見せましたならどれだけ喜んで呉れるであらうかとそれが出來ぬのを大變殘念に存じます今では末ちゃんは小倉家を相續しなければならぬことゝなつて居ます

◙養子を致し ますかそれともお嫁に行つて子供でも出來たのを相續人に致しますか今の處は何んとも定めて居りません、本人は一生を獨身で音樂に貢獻したいとは申して居りますけれども到底そんな可憐そうなことはさせられぬと存じて居ます米國に居りました時も

◙或る米國人 が末さんは外國人にお嫁入なさつたらよろしいでしようと云はれましたけれども日本婦人はやはり日本の男子と結婚するのが一番よい方法と存じます、音樂家のやうな一種の藝術家が結婚してからの

◙技術は退步 はすまいかと云はれる人もありますがそんなことはなからうと存じます、けれども一度夫に嫁しましたならばどこまでも一家の主婦として盡す可き正道を踏んで行かねばなりませんから旅に出るやうなことは斷然止めねばなりません、私しと小倉（庄太郎氏）との間には子供がありませんので今では

◙自分の子供 のやうにして可愛がつて居ます、末ちゃんは獨逸語と英語は讀書、會話共自由に出來ますが尚ほ佛蘭西語も只今練習中でございます、衣類なども常に西洋服のみを着けて居ますが此間の

◙御前演奏の 時に著て出ましたのも今度私共二人が著て居りますのも大方は末ちゃんの手で縫つたものでございます』と語り終ればた末子女史の妙なる音律は一番高く低く女史自らの生立を物語るかのやう…………

工事入札

一、丹陽憲兵分隊廳舍外三棟新築外二修繕工事

右十二月二十七日午前十時當部ニ於テ競爭入札ニ付ス詳細ハ當部又ハ忠州丹陽分隊ニ就キ承知セヨ

清州憲兵隊本部

……督府は原料の徵税に關しても特別の……試驗所において其試驗に專念たるも……のあり之補足地工業政策將來の爲め

名古屋にて病死……十八日……三十八歲

胃腸新劑　ゴルフ

「ゴルフ」はタカヂアスターゼを主薬とせる健胃消化の新製劑なり

二十錢　四十錢　一圓

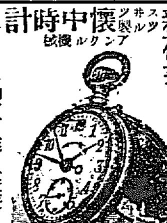
東京室町　寥昌製藥株式會社

新刊書御案內

書名　著者　定價
大正五年版 現行法令輯覽（内閣記錄課編纂）　特二、〇〇
圖式力學　平野正平　一、三〇
最新復式商業簿記　志藤潔一郎　九〇
徹底　[illegible]　孝道　九〇
商機禪　[illegible]老師　五〇
護民宗　横山健堂　一、三〇
英語自修辭典　佐久間信恭　一、三〇
東京模範百工場　井田十二郎　一、五〇
基督の敎訓及人格　[illegible]　一、二〇
みれん　森林太郎譯　六〇
蒼茫（お品の卷）　菊池幽芳　一、三〇
當世百道樂　堀内新泉　一、二〇
いろは子供四十八景　小波　一、〇〇
コドモの畫　山口　五〇
日本一の講演　小波　六五
孝子蔵噺　内海月杖　四八
オトギウタ　[illegible]　四八
ハナシ　鹿島鳴秋　四八
東西お伽訓話（天の巻地の巻）　日比谷吾　各五五
敎訓お伽話　立川熊次郎　各二五
お伽一日一善　藤川淡水　四〇
債權者の法律顧問　特一、八〇

京城本町二丁目　大阪屋號書店

新荷著　懷中時計



スヰツル製　アンクル機械

同（ニツケル側）	一圓五十錢
同（片蓋）	二圓二十錢
同 十八形	二圓九十錢
同 八日卷	四圓五十錢
[illegible]	[illegible]

右は今回新著の商品にて本商會獨特の品に付き御地方遠隔の御方は小包郵便にて御注文に對しては代金引換にて御送附可申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貴直輸入商

本店　京城本町二丁目電話九七二番　イングレッシー商會

精米部開設廣告

一、精白米（無砂石拔）　一、同糯米　斤目正確　價格低廉

今般御得意樣の御便利を計り新に精米部を設け原料米を精選し入念に精白仕り御高需に應じ可申候間何卒御用被仰付度奉希上候

追て糯白米の儀は優良種の特精品手持豐富に御座候間何卒此機を逸せず御注文願上候

下川益一商店精米部

年末年始　實用向御贈答品　各種

例年の通り取揃申居候間倍舊之御眷顧御引立の程伏て祈上候

京城本町三丁目九十九番地　下川益一商店　電話長一四七〇番・四九七番

氣のキイタ歳暮の贈答品は何？

朝鮮總督府　蔘精　高麗人蔘

近來類似品多きも朝鮮總督府製品は紅蔘專賣法により民間に製造を嚴禁せらるゝ紅蔘の製造と相俟て生産せらるものにて全然其製造方法及品質並に成分を異にし居り候に付御買求めの節は必ず朝鮮總督府の封印に御注意被下度願上候

京城南大門通五丁目　板倉支店　電話長二七七一番

京城　朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

電話（長）三一、（本）二六一、二六〇、一三六一、一三六一　振替貯金口座京城三三二番

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

日韓書房　新版報告

姉崎正治著　法華經行者日蓮　定價一圓三十錢　送料十八錢
姉崎正治著　社會の道德上共同責任　定價五十八錢　送料十錢
阪本健一著　獨逸帝國　定價四十五錢　送料十錢
井上泰岳著　我發奮の動機　定價六十錢　送料十錢
樗牛全集五卷　想華及小品　定價一圓五十錢　送料十二錢

京城本町二丁目　電話一五四番　振替口座一一五番

內地塊炭　撫順塊炭　無煙煉炭　商

京城西小門通　西崎商會　電話七二七番

怒濤の月

二十六 小林蹴月作 武内桂舟畫

間一髪 『五』の六

「……阿兄さん、立派に證明を立てます。情願、此方を向き直つて、見届けて下さい。」

絹代はよく〳〵思ひ迫つた態度で斯う言ふと等しく、磨ぎ澄したる剃刀の柄を取直して、既での事雪を欺く咽喉笛の邊りへ、ぐさとばかり突き立てやうと爲たのであるが、有繋にその繊弱い手元は、ぶる〳〵と震へた。同時にコスモスの花が、又しても五六片搖ぎ零れたのであつた。

『なに、立派に證明を立てる事が出來るつて？』

幸三郎も、多少かは愛感的に、絹代の尋常ならぬ覺悟の有樣を氣取つたので、我ともあらず、顏を擡げて絹代の方を振返ると、果せる哉、間一髪の危機であつた。

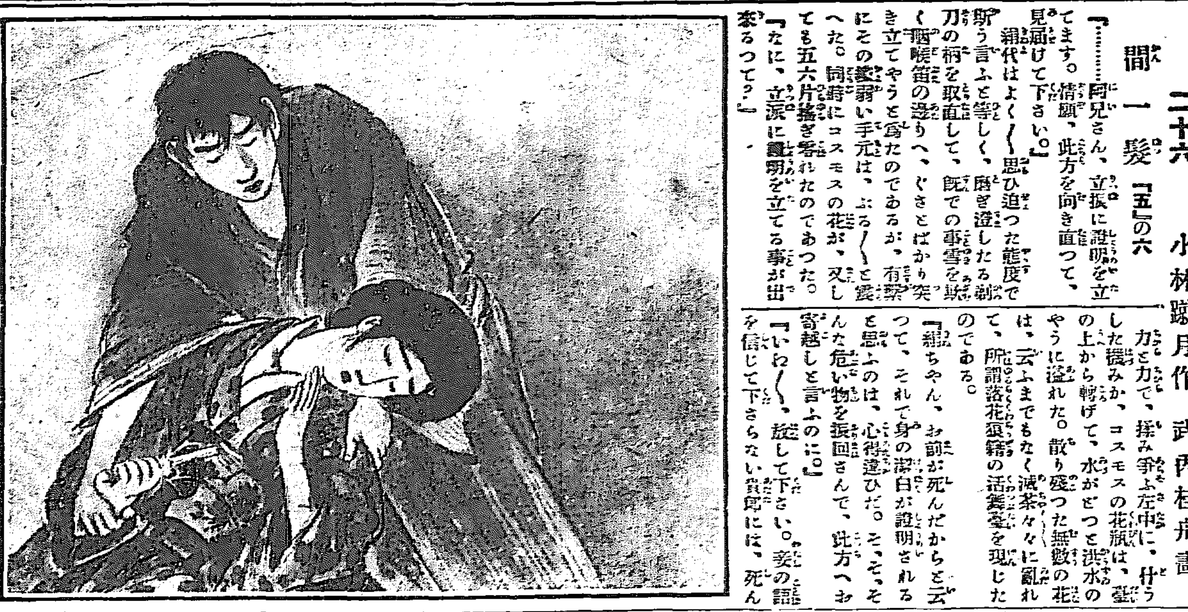
『ばツ、莫迦なツ。絹ちやん、お前は何を爲るんだ。』

事情や理屈を離れて、物凄い剃刀の光に眼を驚かされた幸三郎は、矢庭に飛び蒐つて、絹代の剃刀を持つた手首を千切れよとばかりに緊乎と握り詰めて了つたのである。

『あれツ、阿兄さん、妾、死ぬより外に證明の立てやうはないんですもの。死んで、妾の潔白の精神を見届けて頂くより外には………。』

絹代は、身を藻搔きながら、幸三郎の手を振り放さうと焦つた。

幸三郎は、放さじと一生懸命！



力と力で、揉み爭ふ左中に、什うした機みか、コスモスの花瓶は、臺の上から轉げて、水がどつと洪水のやうに溢れた。散り殘つた無數の花は、云ふまでもなく滅茶々々に亂れて、所謂落花狼藉の活舞臺を現じたのである。

『絹ちやん、お前が死んだからと云つて、それで身の潔白が證明されると思ふのは、心得違ひだ。そ、そ、そんな危い物を振回さんで、此方へお寄越しと言ふのに。』

『いゝえ〳〵、放して下さい。妾の語を信じて下さらない貴郎には、死んで御目に懸けるより途はないんで御座います。』

『放せと言つたつて、放せるもんぢやありや爲ないよ。お前が事實上の證明さへ立つて見せればそれで事が……………』

幸三郎は、更に一際の力を籠めて、ねいやつと絹代の握り詰めた剃刀を捻ぎ奪つたかと思ふと、突然頭上の電燈が、燐の火の消え失せるやうにぱつと蒼くなつて光の色が失くなつて了つた。六疊の室内は忽ち闇と變つて、剩さへ、氣の加減ばかりでなく、膃いやうな一種の生温い風が、何處からともなく幸三郎の頸首を掠めた。幸三郎は、我知らずぞく〳〵ツと震へて、捻ぎ奪つた剃刀を霊剛として疊の上へ投げ出したが、勇氣を鼓して再び絹代の名を呼びかけやうと爲ると、舌の根が石のやうに硬ばつて聲が立たない。加之に、烈しい眩暈を感じて、今にも其處へ打倒れさうな氣が爲た。

『きツ、絹ちやん……。』と、此の一語を言ふのにさへ、ほんの咽喉の底だけであつた。あツ、苦しい、此の儘僕は殪れるんぢやないか知ら……さ、何とも云へぬ心細さを頭の中で感じながら、切めては電燈丈でも點けやうと思つて、起ち上らうと爲ると、兩脚の關節が麻糸で絡げられたやうに釣り縮んで、起つ事は措き、踏み延ばす力さへもないのである。

『爺々死ぬんだ。斯うして僕は熱の爲めに責め殺されて了ふんだらう。』

固より口は利き得られないので、心に考へて、心に悶ね苦みつゝ、僅かに行詰まつたやうな呻きの聲を發して居るのであつたが、その内に不思議な事には、絹代の蒼白めた顏が、恰も幻燈の影畫のやうに、古襖の中途へ斜めに映つた。『おツ、絹ちやんは、まだ其處に居たんだな』斯う思ひながら、手を延べて、絹代の袖の邊りを引戻さうと爲ると、絹代は、その細長い面に、莞爾と淋しい笑ひを浮べて、それなり姿を消して了つた。

『倅や、幸三郎や、お前はまあ大層うなされてお在だが、什うかお爲ではないかね。』

耳元で、頻りに母の呼ぶ聲が聞えたので、思はず、我に返つた幸三郎は、今更の如く心を取直して、ぱちり眼を睜いて見ると、電燈にも異狀がなければ、コスモスの花瓶も依然として、舊の儘であつた。

寫眞は 龍山軍司令部前 ◎山崎 電話六一六番

書畫用 絖畫絹 京染呉服商 まや出張店 京城永樂町 電話二一九六番

京城府永樂町一(商品陳列館通坂の上) 花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

婦人科 産科 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 二宮醫院 電話一二〇一番

移轉診療 京城南大門驛横二見旅館内にて診療中の處患者各位の御便利上長谷川町 安東病院外科室に十二月一日より移轉從前の通り診療に從事仕候 肛門病 痔疾 注射 專門醫院

退官口號

小非 高田長豊

昨日官袍換褐衣。笑談盛句故園歸。自今眼界煙波濶。笑把漁竿上釣磯。

之亭曰 衿抱浩然無累第二盛字當改以擒字第三自字當換以從字

奉倭高田詞伯棄官之江湖 摘松 福尚志

寮巉仙禽拂縞衣。蓬萊山下訪巣歸。煙波浩蕩盟鷗鷺。人在桐江舊釣磯。

之亭曰 寫盡高尚

夢蓮 宗憲爽

惜別臨行更挽衣。人情無奈遠于蹄。功成身退封留願。明月清風舊釣磯。

之亭曰 情意懇到但封留者未必戀清風明月

雲煙 大道白

我是江湖一布衣。羨君身退故園歸。隨鷗自適悠々處。吟月吟花又釣磯。

之亭曰 相羨處必見其符合

之亭 安往居

散官身被綠蓑衣。須向滄江泛櫂歸。一片機心今己定。白鷗從此傍吾磯。

新刊紹介

▲帝國南進策『副島八十六著』 歐洲大戰が十九世紀末より二十世紀に跨る文明の缺陷に對し大淘汰を施したると共に平和克復後の世界に必ずや國際上政治上貿易上其他各種の政策上に一大革新を加へ、其の反動的勢力が南洋に集中するに至るべく此の秋に當て帝國が列强の間に伍して能く東洋平和の維持者たり世界平和の保障者たるの使命を全ふせんには一に今日の好機を逸せず國力の充實伸暢に努力せざる可らずとの見解の下に其の一策として南進策を說けるもの所論悉く的確なる數字の上に立脚して空理空論を斥け一々實證に據りて印度貿易の現狀と將來とを說いて蘭領印度諸國の現勢を論じ著者は二十年來印度南洋貿易に關し親しく其風土人情及び商工業を調査して常に帝國の南進策を講じつゝありし人にして國家百年の大計を確定すべき好機に際し經濟界の一時的變遷の好況に心醉せる盲目流の迷夢を覺醒すべく警鐘を亂打せる所謂下必讀 好文字たるを失はず南方經營者は一讀を附錄す又大に學ぶべし(一圓東京市京橋區日吉町三民友社)

▲義太夫集上卷(海賀變哲編) 本書は最も人口に膾炙したる淨瑠璃三十番を收錄せるものにして章句は能ふ限り嚴密に校訂し、合の手の外に特殊の節は洩れなく記入せり殊に卷末に謝何略解を附したるは斯道研究者の參考に資すべし(五十五錢東京博文館)

▲人情新話水の流れ(小野賢太郎著) 有爲轉變記、女詩人、蒼生入用の與吉等二十餘篇の隨筆を集めたるものにして日常吾人の遭遇する社會悲多の事實を題材とし之に著者特の人生觀を下したる所能く人情の機微を穿ち社會の缺陷を暴露し一般に平凡觀して顧みられざる事實を活躍せしめて流麗極りなき人の筆端描寫せるもの妙味あり(定價一圓五十五錢東京麹町區有樂町一の四實業之世界社)

▲某課の宴會が近まりますが何某員との同席拙者は閉口です今年は何とか改良して欲しい(兼武者)▲荷馬車の馭者が馬の口を取らずに自分が馬車に乘つて南大門通を通行して居たが差閊かきや(局度生)▲十七日夜南米倉町を一人の男が頗る御機嫌の體で春雨を唄ひながらあの道の悪いのを千鳥足で降りて來たが某宿屋の前で轉んだ合の手に掛る處でツルリと辷つて轉んだ誰れかと思つたら某お店の若旦那(御目附)▲門構への家に郵便新聞の受函の無い家があるが雨の降る夜門の閉つて居る場合など配達に閉口する(配達屋)▲電車は後外所降と云ふ規則になつて居るらしいが電車によるとそれが斷行されて居ない爲め困る事が往々あるこれも局に當る人の行が仲々六ケしいものだらうが寧ろそんな規則を勵行するなら何方でも都合のいゝ方から乘れる譯だ(理屈居士)

瀬戸皮膚科外科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 (電話二四九八番) 診察夜九時まで

M印 品質本位 コマリ 大阪店

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四番 醫學博士 醫學士 古城憲治 上野亮藏 内科 小兒科 入院随意 無料施療す 毎日五名を限り

不可飲 皇漢薬臣松本顯光製方劑 ▲リウマチス ▲神經痛 ▲うちみ ▲いんきん田虫 ▲やけど ▲切きず肩のこり ▲ゑもやけ ▲歯いた 其他皮膚病一切の特効薬 發賣元 大阪東區北久寶寺町二丁目 三木清商店 振替大阪八〇〇番 到る處の薬店に販賣す

ぢの薬 内用 清痔丸 外用 清痔劑 兩劑ヲ併用スレバ効能著シ 薬價 内用 外用 本舗 名古屋京町 荒川長太郎 全國到る處の薬店に販賣す

流經新薬 レスノリン 月經閉止經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ達ス 其他流經作用ノ確實ナル 月經 流經 薬價一瓶一圓 送費内地十二錢 説明書三錢切手 發行所 常盤薬院 大阪北區 振替大阪二〇番

男のひみつ病 東京順天堂病院始め知名大醫の實驗證明と自用患者の禮狀等多數を有し全國發明品投票に最高點の優等に當選せる專賣特許二九二六九號同第二九二〇一號の手島式眞空療法器と包莖自然療法器は共に最新發明の輕便自療器にして之を自宅で秘密に使用せば生殖器の短小、包皮漏、陰委、早漏、遺精、夢精、神經衰弱等は頗る手輕に治るハガキで申込ば圖入明細書を無代送呈す 東京市京橋本材木町三ノ三 東京療法研究所 大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

金露 攝津灘 大塚釀造所吟製 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

鑛山及船舶薬 食鹽輸入販賣 平安南道新安州 合資會社 藤井組 社長 藤井千城

醫化學諸器械一式 (K) 仁川本町 北島薬店 京城本町永樂町角 北島薬店京城支店 電話三三四・振替京城六七番 電話七六一番

薬種賣薬卸商

内科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院随意 電話九四〇番

醇良無比双清酒 薫 品質無双 無害衛生 首藤合名會社吟造 精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 甲鰹萬 各種 三矢布引サイダー シトロン 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社 十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

祝再築落成 江陵慈惠醫院 職員一同

祝再築落成 江陵大和町 生山寛彦

祝再築落成 咸興地方法院江陵支廳 職員一同

祝再築落成 朝鮮郵船會社荷客取扱 江原道江陵注文津 荒木回漕店

祝再築落成 蔚珍郡廳 職員一同

祝再築落成 蔚珍郡郵便局 職員一同

祝再築落成 荒木回漕部出張所 江陵本町 田苗定松

祝再築落成 三陟地方金融組合 職員一同

祝再築落成 江陵警察署長 小林逸次

祝再築落成 三陟憲兵分隊 宮本賢祥

祝再築落成 蔚珍憲兵分隊 長谷川豐治

祝再築落成 蔚珍普通學校

祝再築落成 三陟郡廳 職員一同

共同汽船仁川出帆

阿波共同丸 十二月十九日正午出港(芝罘、大連行) 第一號 日入港 朝鮮總督府命令航路 大連、芝罘に寄港し旅順、營口、安東縣、天津、北京、漢口及其他陸海の各地へ通し切符發賣仕候 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 春日町(電話二四七番) 元山代理店 田口回漕部 南大門(電話二六八・二〇七) 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆

本社 電話長一九五二番一二二番 總代理店 京城府大門通 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

○○全羅丸 十二月廿六日
○○京畿丸 十二月廿一日
○○黄海丸 十二月廿一日
○○咸鏡丸 十二月三十日 釜山發 門司より釜山各港寄港航路

○稔城丸 十二月二十日
○昌平丸 十二月二十日
○鏡城丸 十二月二十日 元山發 元山より各港經由鬱陵島

○平壤丸 十二月十九日 元山發 城津清津雄基行仁川より門司又は大阪行

○登德丸 十二月 日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行

○○江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發 浦項 長生浦方魚津寄港

○三浦丸 十二月 日 釜山發 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港

○○統營丸 ○○巨濟丸 慶尚丸 毎日 釜山發 各港寄港統營經由(三日目一回木浦行)

○順天丸 三日目毎二 木浦發 各港寄港由麗水行 釜山行に接續

○慶興丸 十二月 日 木浦發 各港寄港由濟州島行一回

○慶興丸 十二月廿二日 木浦發 南多島、莞島行(月三回)

○公州丸 十二月十九日 木浦發 各港寄港由濟州島行(東寄)

○宗信丸 十二月廿二日 仁川發 海州他各港經由、鎭南浦行

○江原丸 十二月廿八日 仁川發 芝罘、大連、青島行

○○麗水丸 十二月廿一日 晋州丸 十二月廿八日 仁川發 各港寄港由木浦行

○○全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、桐島、海州行

日本郵船仁川出帆

○大連行、奉皇島行 三河丸 六年一月一日正午出帆 相模丸 十二月廿一日正午出帆 高砂丸 十二月廿一日正午出帆

○芝罘、大連、青島行 江原丸 十二月 日前十時出 仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大有丸 十二月廿二日後四時出帆 秀吉丸 十二月 日後四時出帆 君が代丸 十二月 日後四時出帆 神代丸 十二月二十日後四時出帆 仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外號路所屬航路遠洋航路を除く乗船券發賣の時は五分引を以て連絡切符を發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 大智丸 十二月廿二日 天智丸 十二月廿五日後五時出 彰州丸 十二月二十日

××信濃川丸 十二月廿一日 木浦、釜山、元山、長崎行 正午出帆 信濃川丸 一月十七日後二時出

×○群山 釜山 福洛行 淸州丸 十二月三十日 後二時出 福州丸 十二月二十日

○×鎭南浦、大連行 信濃川丸 十二月廿六日後二時出 信濃川丸 一月十三日 蘇州丸 一月六日 福州丸 十二月廿五日正午出帆

○鎭南浦神戸大阪行 須磨丸 十二月廿八日正午出帆

△○×津、浦鹽行(元山出帆) 城津丸 ○八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 十二月廿五日後二時出 宮島丸 十二月廿一日後三時出

○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 北丸 一月十一日午前六時出 基隆丸 一月一日午後四時出

御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ●印乘客扱の夜間無賃艀舟回漕取次仕候 ○×印は本船出帆約一時間前無賃艀舟發賣仕候 △印は乘客のみ扱ひ

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番 二〇五番

京城切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話二一番 七〇八番

●中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て通切符發賣仕候

商況 仁川期米 三月限 四月限 五月限 一七〇〇 一七九九〇 一七八八〇 ▲全能く賣る 玄米 大豆 白米 小豆